

## イプロジオン (案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

## 1. 概要

(1) 品目名：イプロジオン [ Iprodione (ISO) ]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺菌剤

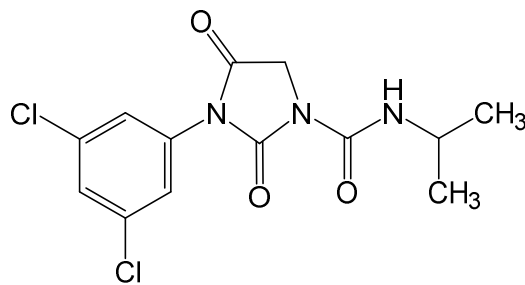
ジカルボキシイミド系殺菌剤である。病原菌の細胞膜内でヒスチジinkinナーゼを含む浸透圧信号伝達系を攪乱し、病原菌の孢子発芽阻害、発芽管及び菌糸の伸長阻害により、殺菌効果を示すと考えられている。

(4) 化学名及びCAS番号

3-(3,5-Dichlorophenyl)-*N*-isopropyl-2,4-dioxoimidazolidine-1-carboxamide  
(IUPAC)

1-Imidazolidinecarboxamide, 3-(3,5-dichlorophenyl)-*N*-(1-methylethyl)-2,4-dioxo- (CAS : No. 36734-19-7)

(5) 構造式及び物性



分子式	$C_{13}H_{13}Cl_2N_3O_3$
分子量	330.16
水溶解度	$1.15 \times 10^{-2}$ g/L (20°C)
分配係数	$\log_{10}P_{ow} = 3.00$ (25°C, pH 5)

## 2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

### (1) 国内での使用方法

【作物名】となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

#### ① 50.0%イプロジオン水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
かんきつ*	灰色かび病	1000～2500倍	200～700 L/10 a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
	黄斑病	1000～1500倍					
	黒腐病	1000倍					
りんご*	斑点落葉病	1000～1500倍		収穫14日前まで	5回以内		5回以内
なし	黒斑病						
もも ネクタリン	灰星病	1000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
	ホモプシス 腐敗病						
おうとう	灰星病	1000～1500倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
	黒かび病	1000倍					
すもも あんず	灰星病	1000～1500倍		収穫3日前まで	2回以内		2回以内
びわ	灰色かび病			収穫前日まで			
	うめ			灰色かび病 環紋葉枯病			
食用桑 (果実)	菌核病	1000倍		収穫14日前まで	4回以内		4回以内
キウイフル ーツ	果実軟腐病	1000～1500倍		収穫前日まで			
	灰色かび病	1500～2000倍		開花期～落花期			
	貯蔵病害 (灰色かび病)		収穫前日まで				
ぶどう	灰色かび病 白腐病	1000～1500倍	開花期～幼果期 ただし、収穫60 日前まで	3回以内	3回以内		
	黒とう病						
マンゴー	灰色かび病	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内		
はとむぎ	葉枯病	60～150 L/10 a	収穫21日前まで				
		8倍		3.2 L/ 10 a			
いちご	灰色かび病 黒斑病 菌核病	1500倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	4回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は 1回以内、 は種後は 4回以内)
	ピーマン	灰色かび病					
		菌核病	1000倍				

\*:作物の登録削除が予定されている。

① 50.0%イプロジオン水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数	
なす	灰色かび病 黒枯病	1000～1500倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	4回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は 1回以内、 は種後は 4回以内)	
	菌核病 すすかび病 褐色斑点病	1000倍						
きゅうり	灰色かび病	1000～1500倍						
すいか メロン	菌核病 つる枯病	1000倍						
	ズッキーニ	灰色かび病						1000～1500倍
キャベツ	菌核病 株腐病	1000倍						収穫7日前まで
薬用にんじん	灰色かび病 斑点病	1000～1500倍		収穫14日前まで				
にんじん	斑点病 黒葉枯病							
	黒葉枯病	種子重量の0.5%		—				は種前
漬物用メロン	菌核病 つる枯病	1000倍		収穫14日前まで				1回
オクラ	黒斑病 灰色かび病	2000倍	収穫前日まで					
トマト ミニトマト	灰色かび病	1000～1500倍						
	輪紋病 斑点病	1000倍						
ごぼう	菌核病							
あしたば	葉枯病							
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 黒斑病			1000～1500倍	収穫7日前まで			
くきちしゃ	灰色かび病							
	菌核病 すそ枯病	1000倍						

注) ー： 規定されていない項目

① 50.0%イプロジオン水和剤 (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数				
レタス	灰色かび病	1000～1500倍	100～300 L/10 a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は3回以内)				
	菌核病 すそ枯病	1000倍									
非結球レタス	灰色かび病	1000～1500倍		収穫21日前まで							
	菌核病 すそ枯病	1000倍									
しそ	菌核病	2000倍		100～300 L/10 a				収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は3回以内)
バジル		1000倍									
はくさい		白斑病 黒斑病									
ねぎ	ポトリチス 葉枯症 黒斑病 小菌核腐敗病	1000～1500倍		0.5～1 L/m <sup>2</sup>				収穫14日前まで	3回以内	株元灌注	4回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は3回以内)
	小菌核腐敗病	500倍	1 L/m <sup>2</sup>								
	白絹病	500～1000倍	1 L/m <sup>2</sup>								
あさつき	ポトリチス 葉枯症 黒斑病 小菌核腐敗病	1000～1500倍	100～300 L/10 a	収穫30日前まで	3回以内	散布	4回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は3回以内)				
わけぎ											
らっきょう	灰色かび病	1000倍	3 L/種いも 100 kg	収穫前日まで	4回以内	種いも 散布	4回以内 (種いも散布は1回以内)				
ばれいしょ	菌核病 夏疫病	125倍		植付前	1回						

① 50.0%イプロジオン水和剤 (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数		
さやえんどう	灰色かび病	1500倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (種子粉衣は 1回以内、 は種後は 3回以内)		
えだまめ	灰色かび病 菌核病	1000倍		収穫30日前まで					
未成熟そらまめ	赤色斑点病			収穫前日まで					
実えんどう	灰色かび病			収穫21日前まで					
だいず あずき	灰色かび病 菌核病								
いんげんまめ	灰色かび病	1000～ 1500倍		菌核病				500～ 1000倍	
	菌核病	1000～ 1500倍							
らっかせい	灰色かび病	1000～ 1500倍		てんさい				葉腐病	500～ 1000倍
食用ゆり	葉枯病	1000倍							
ししとう	灰色かび病	2000倍		100～300 L/10 a				収穫前日まで	2回以内
とうがらし 類 (ししとうを 除く)			収穫3日前まで						
葉たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 黒斑病	1000倍	収穫14日前まで						
ひろしまな	白斑病								
未成熟ささげ	灰色かび病	1500倍	収穫前日まで						
葉ごぼう	菌核病	1000倍	2 L/m <sup>2</sup>	収穫30日前まで					
のぎわな				収穫35日前まで					
みぶな				収穫45日前まで					
みつば (軟化栽培)				根株養成期 地上部切り取り 前 ただし、 収穫35日前まで 伏込時 ただ し、 収穫30日前まで	1回	土壌灌 注	4回以内 (種子粉衣は 1回以内、散布 は2回以内、 土壌灌注は 1回以内)		

① 50.0%イプロジオン水和剤 (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
畑わさび	墨入病	1000倍	—	定植時	1回	定植時に20時間苗浸漬し、更に定植後に灌注する。	5回以内 (種子粉衣は1回以内、 苗浸漬は1回以内、 定植後は3回以内)
		500倍	3 L/m <sup>2</sup>	定植後 ただし、収穫 30日前まで	3回以内		
うど	黒斑病	1000倍	100～300 L/10 a	根株養成期 ただし、収穫 50日前まで	1回	散布	4回以内 (散布は3回 以内、土壌灌 注 は1回以内)
	菌核病		6 L/m <sup>2</sup>	伏せ込み時 ただし、収穫 21日前まで		土壌灌 注	
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	5回以内	散布	6回以内 (種子粉衣は 1回以内、 は種後は 5回以内)
茶	灰色かび病	1000～ 1500倍	200～400 L/10 a	摘採21日 前まで	2回以内		2回以内
野菜類	アルタナリア 菌による病害	種子重量 の0.5%	—	は種前	1回	種子処 理機に よる 種子粉 衣	1回

① 50.0%イプロジオン水和剤 (つづき)

作物名	適用場所	適用	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	温室、ガラス室、ビニールハウス等の密閉できる場所	灰色かび病	200 g/10 a	5 L/10 a	収穫前日 まで	4回以内	常温煙霧	5回以内 (種子粉衣は 1回以内、 は種後は 4回以内)
トマト ミニトマト						3回以内		4回以内 (種子粉衣は 1回以内、 は種後は 3回以内)
ぶどう				6 L/10 a	開花期～ 幼果期 ただし、 収穫60日 前まで	3回以内		3回以内

② 40.0%イプロジオンフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	菌核病 つる枯病 灰色かび病	1000～1500倍	収穫前日まで	4回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は4回以内)
なす いちご	灰色かび病			3回以内		4回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は3回以内)
トマト						3回以内
おうとう	灰星病	1500倍	収穫14日前まで	5回以内		3回以内
りんご*	斑点落葉病					5回以内
もも	灰星病	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内		3回以内
ハスカップ	灰色かび病	1000倍		1回		1回
ふさすぐり	果実腐敗症		収穫3日前まで	3回以内		3回以内
いちじく	黒かび病					

③ 20.0%イプロジオンくん煙剤

作物名	適用場所	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	温室、ビニールハウス等 密閉できる場所	灰色かび病 菌核病	くん煙室容積 300～400 m <sup>3</sup> (高さ2 m、床面積150～200 m <sup>2</sup> ) 当たり100 g (50 g×2個)	収穫前日まで	3回以内	くん煙	4回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は3回以内)
きゅうり なす ピーマン					4回以内		5回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は4回以内)
いちご すいか		3回以内		3回以内			
メロン				2回以内	3回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)		
ぶどう		3回以内			3回以内		
とうがらし類				3回以内	3回以内		
みかん*		3回以内			3回以内		

④ 30.0%イプロジオン・20.0%イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
かんきつ (みかんを除く)*	灰色かび病	1000～ 2000倍	200～ 700 L/10 a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内
みかん*	黒斑病			収穫14日 前まで	4回以内		5回以内
日本なし				収穫30日 前まで			
西洋なし				収穫前日 まで	3回以内		
もも	ホモブシス腐 敗病	収穫7日 前まで	4回以内	5回以内(種 子粉衣は1回 以内、は種後 は3回以内)			
おうとう	灰星病	1000倍			収穫前日 まで		4回以内
いんげんまめ	菌核病	800倍	収穫21日 前まで	3回以内	4回以内(種 子粉衣は1回 以内、は種後 は3回以内)		
きゅうり	灰色かび病	2000倍	100～300 L/10 a				収穫前日 まで
	菌核病						
うどんこ病							
すいか	つる枯病	1000倍		収穫30日 前まで	3回以内	4回以内(種 子粉衣は1回 以内、は種後 は3回以内)	
トマト	2000～ 3000倍	収穫7日 前まで					
レタス	灰色かび病			1000倍	3回以内	4回以内(種 子粉衣は1回 以内、は種後 は3回以内)	
たまねぎ	灰色腐敗病						

⑤ 17.0%イプロジオン・40.0%ホセチル水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	べと病 灰色かび病	400～600倍	収穫60日 前まで	3回以内	散布	3回以内



⑥ 16.5%イプロジオン・34.0%有機銅水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
りんご*	斑点落葉病 すす点病 すす斑病 黒点病	600～800倍	収穫14日前まで	4回以内	散布	5回以内
なし	黒斑病 黒星病			5回以内		
みかん*	灰色かび病	600倍	収穫30日前まで	3回以内		3回以内
	黒点病					4回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は3回以内)
レタス	菌核病 斑点細菌病 腐敗病 軟腐病	500倍	収穫21日前まで	3回以内		

(2) 海外での使用方法

① 50%イプロジオンフロアブル (フィリピン)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
バナナ	Sigatoka	500～750 g ai/ha	収穫0日前まで	1回	散布
	Crown mold Crown Rot	2～3 mL/L water			ポストハーベスト

ai: active ingredient (有効成分)

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、水稻、小麦、レタス、らっかせい、いちご及びももで実施されており、可食部で10%TRR<sup>注)</sup>以上認められた代謝物は、代謝物I (いちご) 及び代謝物L (水稻) であった。

注) %TRR: 総放射性残留物 (TRR: Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

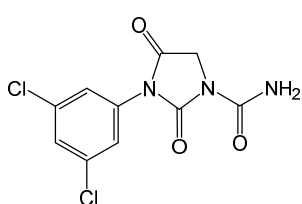
(2) 家畜代謝試験

家畜代謝試験が、乳牛、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物I (乳牛の乳、泌乳山羊の筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓並びに産卵鶏の筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び卵)、代謝物Y (泌乳山羊の腎臓)、代謝物Q (産卵鶏の卵)、代謝物V (産卵鶏の卵)、代謝物W (抱合体を含む。)(乳牛の乳) 及び代謝物Z (産卵鶏の肝臓、腎臓及び卵) であった。

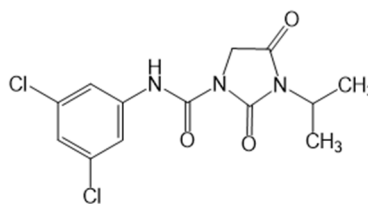
【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
I	RP32490	3-(3,5-ジクロロフェニル)-2,4-ジオキサイミダゾリジン-1-カルボキサミド
L	RP30228又は AEB099658	N-(3,5-ジクロロフェニル)-3-イソプロピル-2,4-ジオキサイミダゾリジン-1-カルボキサミド
Q	RP36112	N-(3,5-ジクロロフェニル)-2,4-ジオキサイミダゾリジン-1-カルボキサミド
V	RP36115	1-(3,5-ジクロロフェニル)ピウレット
W	RP36114	1-(3,5-ジクロロ-4-ヒドロキシフェニル)ピウレット
Y	—	3,5-ジクロロ-4-ヒドロキシフェニルウレア
Z	RP44247	3,5-ジクロロフェニルウレア

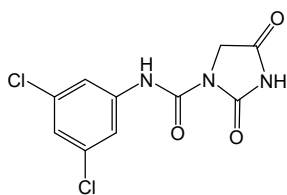
—：JMPR評価書に記載なし。



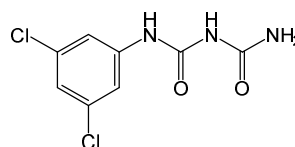
代謝物I



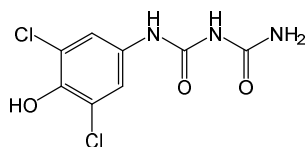
代謝物L



代謝物Q



代謝物V



代謝物W

注) 残留試験の分析対象に関連する代謝物及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

- ① 分析対象物質
- ・ イプロジオン
  - ・ 代謝物L

## ② 分析法の概要

### i) イプロジオン

試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサン又は*n*-ヘキサン・ジクロロメタン (4 : 1) 混液に転溶する。必要に応じてアセトニトリル／ヘキサン分配した後、フロリジルカラム、シリカゲルカラム又はフロリジルカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ (GC-NPD) 又は電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ (GC-ECD) で定量する。

### ii) 代謝物L

試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。シリカゲルカラム、フロリジルカラム及びシリカゲルカラム、フロリジルカラム及びアルミナカラム、又はフロリジルカラム、シリカゲルカラム及びアルミナカラムを用いて精製した後、GC-NPD又は紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ (HPLC-UV) で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶した後、アセトニトリル／ヘキサン分配する。フロリジルカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製、または*n*-ヘキサンに転溶し、シリカゲルカラム及び5%硝酸銀・フロリジルカラムを用いて精製した後、GC-NPDで定量する。

### iii) イプロジオン及び代謝物L

試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶した後、アルカリ熱イオン化検出器付きガスクロマトグラフ (GC-FTD) で定量する。

または、試料からアセトン又はアセトニトリルで抽出し、必要に応じて*n*-ヘキサン又はアセトニトリル飽和*n*-ヘキサンで洗浄する。シリカゲルカラム、フロリジルカラム、グラファイトカーボンカラム、C<sub>18</sub>カラム、多孔性ケイソウ土カラム、シリカゲルカラム及びフロリジルカラム、C<sub>18</sub>カラム及びフロリジルカラム、C<sub>18</sub>カラム及びシリカゲルカラム、フロリジルカラム及びグラファイトカーボン/SAX/PSA積層カラム、多孔性ケイソウ土カラム及びフロリジルカラム、又は多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボンカラム及びシリカゲルカラム、又は多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボンカラム及びフロリジルカラム、あるいはC<sub>18</sub>カラム、フロリジルカラム及びSCXカラムを用いて精製した後、GC-NPD、GC-FTD、GC-ECD、HPLC-UV、ガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS)、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、ジクロロメタンに転溶した後、フロリジルカラムを用いて精製する。アセトニトリル／ヘキサン分配し、酢酸エチルに転溶した後、GC-NPDで定量する。

または、試料からアセトン又はアセトニトリルで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶、または多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製した後、アセトニトリル／ヘキサン分配し、必要に応じて*n*-ヘキサンに転溶する。シリカゲルカラム、フロリジルカラム、C<sub>18</sub>カラム、グラファイトカーボン・シリカゲル連結カラム、シリカゲルカラム及びフロリジルカラム、フロリジルカラム及びグラファイトカーボン・PSA・NH<sub>2</sub>・シリカゲル連結カラム、フロリジルカラム及びGPC、又はグラファイトカーボン・シリカゲル連結カラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、GC-FTD、GC-NPD又はHPLC-UVで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、C<sub>18</sub>カラムを用いて精製した後、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラムを用いて精製した後、GC-FTDで定量する。

または、試料からアセトニトリル・水（3：1）混液で抽出し、*n*-ヘキサンに転溶した後、凝固法により精製する。*n*-ヘキサンに転溶し、アセトニトリル／ヘキサン分配した後、*n*-ヘキサンに転溶する。シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-ECDで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製、または必要に応じて酢酸エチルに転溶する。凝固法により精製した後、*n*-ヘキサンに転溶する。シリカゲルカラム、硝酸銀含有シリカゲルカラム、フロリジルカラム又はシリカゲルカラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、GC-FTD、GC-NPD又はHPLC-UVで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。シリカゲルカラム又はフロリジル／シリカゲル積層カラムを用いてイプロジオンと代謝物Lを分離し、必要に応じて、それぞれフロリジルカラムを用いて精製、またはイプロジオンはフロリジルカラム又はシリカゲルカラム、代謝物Lはアルミナカラム又はフロリジルカラムを用いて精製、それぞれGC-NPD、GC-ECD又はHPLC-UVで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、ジクロロメタンに転溶した後、フロリジルカラムで精製する。シリカゲル薄層クロマトグラフィーで分離し、イプロジオン及び代謝物L部分をかき取り、アセトンで抽出した後、HPLC-UVで定量する。

あるいは、試料からアセトン又はアセトニトリルで抽出し、必要に応じてアセトニトリル飽和*n*-ヘキサンで洗浄する。酢酸エチル、*n*-ヘキサン、ジクロロメタン又は*n*-ヘキサン・ジクロロメタン（4：1）混液に転溶し、シリカゲルカラム、フロリジルカラム、SAXカラム、グラファイトカーボン/NH<sub>2</sub>積層カラム、活性炭・結晶セルロース（1：9）混合物カラム、グラファイトカーボン・シリカゲル連結カラム、グラファイトカーボン/SAX/PSA積層カラム、シリカゲルカラム及びフロリジルカラム、フロリジルカラム及びグラファイトカーボン/SAX/PSA積層カラム、又はフロリジルカラム、シリカゲルカラム及びアルミナカラム、又はC<sub>18</sub>カラム、グラファイトカーボンカラム及びSAX/PSA積層カラム、あるいはフロリジルカラム、グラファイトカーボン/PSA積層カラム及びSAXカラムを用いて精製した後、GC-FTD、GC-NPD、GC-ECD、HPLC-UV、多波長検出器付き高速液体クロマトグラフ（HPLC-DAD）又はガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

茶浸出液については、飽和酢酸鉛溶液を加えてろ過し、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラム又はシリカゲルカラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、GC-NPD又はGC-ECDで定量する。

なお、代謝物Lの分子量はイプロジオンと同一のため換算はしていない。

定量限界：イプロジオン 0.005～0.2 mg/kg  
代謝物L 0.005～0.4 mg/kg

## 【海外】

- ① 分析対象物質
  - ・イプロジオン
  - ・代謝物L

## ② 分析法の概要

### i) イプロジオン

試料から アセトニトリル・水 (2:1) 混液で抽出し、無水硫酸マグネシウム、塩化ナトリウム、クエン酸三ナトリウム二水和物及びクエン酸水素二ナトリウムセスキ水和物を加えて振とうし、遠心分離する。上清にPSA及び硫酸マグネシウムを加えて振とうし、遠心分離した後、上清をGC-ECDで定量する。

定量限界：0.003 mg/kg

### ii) イプロジオン及び代謝物L

試料からアセトニトリルで抽出し、*n*-ヘキサンで洗浄する。フロリジルカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、ジクロロメタンに転溶する。フロリジルカラムまたは必要に応じて*n*-ヘキサンで洗浄し、グリセリルプロピルシリル化シリカゲル (ジオール) カラムを用いて精製した後、GC-ECDで定量する。

なお、代謝物Lの分子量はイプロジオンと同一のため換算はしていない。

定量限界：イプロジオン 0.01~0.1 mg/kg

代謝物L 0.01~0.1 mg/kg

## (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

## 5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の残留農薬濃度と動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

### (1) 分析の概要

#### ① 分析対象物質

- ・イプロジオン及び非水酸化代謝物 (総量) (アルカリ加水分解により3,5-ジクロロアニリンへ変換される化合物、イプロジオン、代謝物I、代謝物L、代謝物Q及び代謝物Vを含む。)
- ・水酸化代謝物 (アルカリ加水分解により4-アミノ2,6-ジクロロフェノールへ変換される化合物、代謝物W (抱合体を含む。)) を含む。)

#### ② 分析法の概要

##### i) イプロジオン及び非水酸化代謝物 (総量)

牛の筋肉、腎臓及び脂肪

試料に1 mol/L塩酸を加えてアセトンで抽出した後、更に1 mol/L水酸化ナトリウム溶液を加えてアセトンで抽出し、アセトニトリル/ヘキサン分配する。10 mol/L水酸化ナトリウム溶液を加えて還流し、3,5-ジクロロアニリンに加水分解する。ベンゼンに転溶した後、ヘプタフルオロ酪酸によりヘプタフルオロブチリル化する。フロリジルカラムを用いて精製した後、3,5-ジクロロアニリンのヘプ

タフルオロブチリル誘導体をGC-ECDで定量する。

#### 牛の肝臓

試料に1 mol/L塩酸を加えてアセトンで抽出した後、更に1 mol/L水酸化ナトリウム溶液を加えてアセトンで抽出する。25%硫酸アルミニウム溶液を加え、pH 5~7として生じた沈殿をろ別した後、アセトニトリル/ヘキサン分配する。10 mol/L水酸化ナトリウム溶液を加えて還流し、3,5-ジクロロアニリンに加水分解する。ベンゼンに転溶した後、ヘプタフルオロ酪酸によりヘプタフルオロブチリル化する。フロリジルカラムを用いて精製した後、3,5-ジクロロアニリンのヘプタフルオロブチリル誘導体をGC-ECDで定量する。

#### 牛の乳

試料からアセトンで抽出し、アセトニトリル/ヘキサン分配する。10 mol/L水酸化ナトリウム溶液を加えて還流し、3,5-ジクロロアニリンに加水分解する。ベンゼンに転溶した後、ヘプタフルオロ酪酸によりヘプタフルオロブチリル化する。フロリジルカラムを用いて精製した後、3,5-ジクロロアニリンのヘプタフルオロブチリル誘導体をGC-ECDで定量する。

#### 鶏の組織及び卵

試料に40%水酸化ナトリウム溶液、粒状亜鉛、三塩化チタン及び*n*-ヘキサンを添加して還流した後、*n*-ヘキサン留出物及び水性蒸留物を4 mol/L塩酸を入れた受器に集める。酸性下*n*-ヘキサンで洗浄した後、塩基性として生成した3,5-ジクロロアニリンを*n*-ヘキサンで抽出する。シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-ECD又はGC-NPDで定量する。

なお、残留濃度は3,5-ジクロロアニリンの値に換算係数2.04又はヘプタフルオロブチリル誘導体の値に換算係数0.922を乗じてイプロジオン濃度に換算する。

定量限界：イプロジオン及び非水酸化代謝物（総量）0.01~0.1 mg/kg

牛の乳のイプロジオン及び非水酸化代謝物（総量）0.005 mg/kg

（イプロジオン換算濃度）

## ii) 水酸化代謝物

#### 牛の乳

試料からアセトンで抽出し、25%硫酸アルミニウム溶液を加え、pH 4.5~6.0として生じた沈殿をろ別する。アセトニトリル/ヘキサン分配した後、0.10 mol/L塩酸を加えて加水分解し、酢酸エチルに転溶する。ジアゾメタンによりメチル化し、1 mol/L水酸化ナトリウム溶液を加えて加水分解し、ベンゼンに転溶する。ヘプタフルオロ酪酸によりヘプタフルオロブチリル化し、フロリジルカラムを用いて精製した後、ヘプタフルオロブチリル誘導体をGC-ECDで定量する。

定量限界：水酸化代謝物 0.005 mg/kg

（イプロジオン換算濃度）

#### 鶏の組織及び卵

試料に2 mol/L塩酸を加えてアセトンで抽出し、アセトニトリル/ヘキサン分配する。抱合体を塩酸酸性下60°Cに加熱して加水分解し、ジクロロメタン・酢酸エ

チル(1:1)混液に転溶する。シリカゲルカラムを用いて精製した後、ジアゾメタンによりメチル化する。消泡剤、界面活性剤及び3 mol/L水酸化カリウム溶液を加えて加水分解し、ジクロロメタンに転溶する。2-クロロプロピオニルクロリドによりN-(4-メトキシ-3,5-ジクロロフェニル)-2-クロロプロピル-アミドを生成し、フロリジルカラムを用いて精製した後、GC-ECDで定量する。

なお、水酸化代謝物の分析値は、ヘプタフルオロブチリル誘導体の値に換算係数0.851又はN-(4-メトキシ-3,5-ジクロロフェニル)-2-クロロプロピル-アミドの値に換算係数1.17を用いてイプロジオン濃度に換算した値として示した。

定量限界：水酸化代謝物 0.05~0.1 mg/kg  
(イプロジオン換算濃度)

## (2) 家畜残留試験 (動物飼養試験)

### ① 乳牛を用いた残留試験

乳牛 (ホルスタイン種、体重531~803 kg、3頭/時点) に対して、飼料中濃度として5、15、50及び200 ppmに相当する量のイプロジオンを含むカプセルを29日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるイプロジオン及び非水酸化代謝物の濃度、並びに乳に含まれるイプロジオン、非水酸化代謝物及び水酸化代謝物の濃度をGC-ECDで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中のイプロジオン及び代謝物の総残留濃度 (mg/kg)

	5 ppm投与群	15 ppm投与群	50 ppm投与群	200 ppm投与群
筋肉	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	0.07 (最大) 0.06 (平均)	0.10 (最大) 0.08 (平均)
脂肪	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	0.05 (最大) 0.05 (平均)	0.20 (最大) 0.14 (平均)	0.51 (最大) 0.47 (平均)
肝臓	<0.05 (最大) <0.05 (平均)	0.13 (最大) 0.11 (平均)	0.62 (最大) 0.48 (平均)	1.94 (最大) 1.46 (平均)
腎臓	0.05 (最大) 0.05 (平均)	0.16 (最大) 0.10 (平均)	0.78 (最大) 0.63 (平均)	2.54 (最大) 2.25 (平均)
乳 <sup>注)</sup>	<0.01 (平均)	0.03 (平均)	0.08 (平均)	0.30 (平均)

注) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、8、17及び28日の平均値を求めた。

筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓は、イプロジオン及び非水酸化代謝物の濃度

乳は、イプロジオン、非水酸化代謝物及び水酸化代謝物の濃度

定量限界：筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓0.05 mg/kg

乳0.005 mg/kg

### ② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏 (Hy-liner W77 White種、平均体重1.6 kg、10羽/群) に対して、平均飼料摂取量に基づいて飼料中濃度として10、30及び100 ppmのイプロジオンを含むカプセルを35~37日間にわたり強制経口投与した。筋肉、脂肪、肝臓及び卵に含まれるイプロジオン、非水酸化代謝物及び水酸化代謝物の濃度をGC-ECDで測定した。結果は表2を参照。

表2. 産卵鶏の試料中のイプロジオン、非水酸化代謝物及び水酸化代謝物の総残留濃度 (mg/kg)

	10 ppm投与群	30 ppm投与群	100 ppm投与群
筋肉	0.35 (最大) 0.29 (平均)	1.11 (最大) 0.89 (平均)	3.42 (最大) 2.97 (平均)
脂肪	0.78 (最大) 0.59 (平均)	1.91 (最大) 1.64 (平均)	7.59 (最大) 6.52 (平均)
肝臓	3.70 (最大) 2.96 (平均)	7.24 (最大) 6.45 (平均)	16.18 (最大) 15.65 (平均)
卵 <sup>注)</sup>	0.55 (平均)	1.55 (平均)	5.94 (平均)

注) 定常状態に達したと思われる投与開始後16日からの平均値を求めた。

未測定の場合は0.05 mg/kgとして計算した。

定量限界：筋肉、脂肪及び卵0.05 mg/kg

肝臓0.1 mg/kg、

### (3) 飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林省令第35号)に定める飼料一般の成分規格等と飼料の最大給与割合等から、飼料の摂取によって家畜が暴露されうる飼料中の残留農薬濃度を算出した。

成分規格等で定められている基準値上限まで飼料中に農薬が残留している場合を仮定し、これに飼料の最大給与割合等を掛け合わせるにより飼料中の最大理論的飼料由来負荷<sup>注1)</sup>を算出したところ、肉牛において0.154 ppm、乳牛において0.953 ppm、産卵鶏において0.013 ppm、肉用鶏において0.015 ppmと推定された。また、平均的飼料由来負荷<sup>注2)</sup>は、肉牛において0.154 ppm、乳牛において0.953 ppm、産卵鶏において0.013 ppm、肉用鶏において0.015 ppmと推定された。

注1) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum theoretical dietary burden)：飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (Mean dietary burden)：飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に(作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

### (4) 推定残留濃度

牛及び鶏について、最大理論的及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3-1及び3-2を参照。乳牛及び肉牛の推定残留濃度はイプロジオン及び非水酸化代謝物をイプロジオンに換算した濃度の合計濃度で示した。乳の推定残留濃度はイプロジオン、非水酸化代謝物及び水酸化代謝物をイプロジオンに換算した濃度の合計濃度で示した。産卵鶏の推定残留濃度はイプロジオン、非水酸化代謝物及び水酸化代謝物をイプロジオンに換算した濃度の合計濃度で示した。



表3-1. 畜産物中の推定残留濃度：牛 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.001* (0.001)*	0.003* (0.003)*	0.008* (0.007)*	0.009 (0.009)	0.002* (0.002)*
肉牛	0.0002* (0.0002)*	0.0005* (0.0005)*	0.001* (0.001)*	0.002 (0.002)	

上段：最大残留濃度 下段括弧内：平均的な残留濃度

\*：総残留濃度が定量限界の場合はより高い投与群の総残留濃度で計算した。

表3-2. 畜産物中の推定残留濃度：鶏 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
産卵鶏	0.001 (0.000)	0.001 (0.001)	0.005 (0.004)	0.001 (0.001)
肉用鶏	0.001 (0.000)	0.001 (0.001)	0.006 (0.004)	

上段：最大残留濃度 下段括弧内：平均的な残留濃度

## 6. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号及び第2項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたイプロジオンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

### (1) ADI

最小毒性量：6.1 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） 雄ラット

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 慢性毒性/発がん性併合試験

（期間） 2年間

安全係数：300（最小毒性量を用いたことによる追加係数3を使用）

ADI：0.02 mg/kg 体重/day

発がん性試験において、ラットで精巣間質細胞腫の発生頻度の増加が、マウスで肝細胞腫及び肝細胞癌の発生頻度の増加がそれぞれ認められたが、それぞれの腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

### (参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験をはじめ*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、イプロジオンは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

### (2) ARfD

- ① 国民全体の集団  
設定の必要なし

イプロジオンの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量又は最小毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性毒性試験の最小毒性量900 mg/kg 体重であり、無毒性量が得られなかったが、ラット及びマウスを用いた急性毒性試験結果を総合的に判断し、無毒性量はカットオフ値（500 mg/kg 体重）以上と考えられたことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

② 妊婦又は妊娠している可能性のある女性

無毒性量：90 mg/kg 体重/day  
（動物種） ラット  
（投与方法） 強制経口  
（試験の種類） 発生毒性試験  
（投与期間） 妊娠5～14日  
安全係数：100  
ARfD：0.9 mg/kg 体重

イプロジオンの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量又は最小毒性量のうち最小値はラットを用いた発生毒性試験の無毒性量の90 mg/kg体重/日であり、認められた所見は母動物に影響が認められない用量における胎児の小型胎児数増加及び体壁-臓器間空隙増加であったことから、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDは、これを根拠として、安全係数100で除した0.9 mg/kg体重と設定した。

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、1995年にADIが設定され、ARfDは設定不要と評価されている。国際基準はトマト、もも等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてぶどう、いちご等に、カナダにおいてばれいしょ、トマト等に、豪州においてもも、ぶどう等に、ニュージーランドにおいてレタス、トマト等に基準値が設定されている。

8. 残留規制

(1) 残留の規制対象

イプロジオンとする。

植物代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物I及び代謝物Lであったが、いずれもイプロジオン以上の残留が認められなかったことから、農産物における残留の規制対象には代謝物I及び代謝物Lを含めず、イプロジオンのみとする。

家畜代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物I、代謝物Y、代謝物Q、代謝物V、代謝物W（抱合体を含む。）及び代謝物Zであったが、大部分の試料において、代謝物Iがイプロジオン及び他の代謝物より残留が多かった。しかし、イプロジオン及び非水酸化代謝物（代謝物I、代謝物L、代謝物Q及び代謝物Vを含む。）及び水酸化代謝物（代謝物W（抱合体を含む。）を含む。）を測定して実施された飼養試験から求められた推定残留濃度が0.01 mg/kg未満であったことから、畜産物における残留の規制対象はイプロジオンのみとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

- (3) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

9. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

農産物にあつてはイプロジオン及び代謝物Lとし、畜産物にあつてはイプロジオンとする。

植物代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物I及び代謝物Lであったが、代謝物Iは使用方法に従った用量（1 kg ai/ha）の試験においては検出限界未満であったことから、農産物における暴露評価対象には含めなかった。代謝物Lは作物残留試験において、多くの食品で残留が認められるため、農産物における暴露評価対象に加えた。

家畜代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物I、代謝物Y、代謝物Q、代謝物V、代謝物W（抱合体を含む。）及び代謝物Zであった。家畜残留試験において、乳牛の各組織ではイプロジオン及び非水酸化代謝物、乳ではイプロジオン、非水酸化代謝物及び水酸化代謝物、産卵鶏では、イプロジオン、非水酸化代謝物及び水酸化代謝物が測定されている。その結果、推定残留濃度はいずれの試料においても、0.01 mg/kg未満であったことから、代謝物I、代謝物Q、代謝物V及び代謝物W（抱合体を含む。）を畜産物における暴露評価対象に含めないこととした。なお、代謝物Yは代謝物Wを経由して生成され、代謝物Zは代謝物Vを経由して生成されると考えられた。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をイプロジオン（親化合物のみ）としている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
国民全体（1歳以上）	37.4
幼小児（1～6歳）	69.4
妊婦	35.4
高齢者（65歳以上）	42.5

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

## ② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）における摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない<sup>注）</sup>。詳細な暴露評価は別紙4参照。

注）暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

## イプロジオンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)		各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【イプロジオン/代謝物L】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
はとむぎ (穀実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布 300 L/10 a	3	21, 30	圃場A:3.95 (3回, 30日) (#)	圃場A:3.81/0.22 (3回, 30日) (#)	圃場B:2.54/0.18 (#)	
			8倍無人航空機による散布 2.8~3.3 L/10 a		13, 21, 28	圃場A:4.70 (3回, 28日)	圃場A:4.44/0.26 (3回, 28日)		
	50.0%水和剤	8倍無人航空機による散布 3.1~3.5 L/10 a	13, 21, 28, 35		圃場B:2.09	圃場B:2.00/0.09			
		1000倍散布 180~200 L/10 a	21, 28, 35, 42		圃場A:<0.02	圃場A:<0.01/<0.01			
だいず (乾燥子実)	4	50.0%水和剤	1000倍散布 180~200 L/10 a	3	21, 28, 35, 42	圃場B:0.02 (3回, 42日)	圃場B:0.012/*0.014 (*3回, 42日)		
あずき (乾燥子実)	4	50.0%水和剤	1000倍散布 165~195 L/10 a	3	21, 28, 35	圃場C:0.02	圃場C:<0.01/0.01		
			1000倍散布 150 L/10 a		21, 28, 35	圃場D:0.05	圃場D:0.04/<0.01		
			1000倍散布 200 L/10 a		21, 28, 35, 49	圃場A:0.07 (3回, 35日)	圃場A:0.038/0.036 (3回, 35日)		
	4	50.0%水和剤	1000倍散布 165~195 L/10 a	3	21, 28, 35, 49	圃場B:<0.02	圃場B:<0.01/<0.01		
いんげんまめ (乾燥子実)	4	50.0%水和剤	500倍散布 100 L/10 a	3	14, 20, 30	圃場C:0.03 (3回, 20日)	圃場C:0.02/<0.01 (3回, 20日)		
			500倍散布 100 L/10 a		14, 21, 31	圃場D:0.04 (3回, 31日)	圃場D:0.02/0.02 (3回, 31日)		
	2	40.0%フロアブル	500倍散布 100 L/10 a	3	21	圃場A:0.13 (#)	圃場A:0.01/0.12 (#)		
			500倍散布 100 L/10 a		14, 21	圃場B:0.04 (#)	圃場B:0.03/0.01 (#)		
らっかせい (乾燥子実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布 200 L/10 a	3	21, 28, 35	圃場A:<0.02	圃場A:<0.01/<0.01		
			500倍散布 120 L/10 a		22, 27, 34	圃場B:0.03 (3回, 27日)	圃場B:0.02/<0.01 (3回, 27日)		
ばれいしょ (塊茎)	2	50.0%水和剤	125倍植付時、種いも浸漬 +500倍散布120 L/10 a	1+4	1	圃場A:0.03 (#)	圃場A:0.02/<0.02 (#)		
			500倍散布 240, 200 L/10 a		1, 7	圃場B:<0.03 (4回, 7日) (#)	圃場B:0.01/<0.02 (4回, 7日) (#)		
てんさい (根部)	4	50.0%水和剤	500倍散布 100 L/10 a	3	21, 28, 35, 42	圃場A:0.02	圃場A:0.013/<0.01		
			500倍散布 100 L/10 a		30	圃場B:0.26	圃場B:0.189/*0.108 (*3回, 28日)		
	2	50.0%水和剤	0.3%種子粉衣 +500倍3又は6 L/m <sup>2</sup> 灌注 +500倍散布100 L/10 a	1+I+3	21, 30	圃場A:0.57 (5回, 30日) (#)	圃場A:0.48/0.091 (5回, 30日) (#)		
			500倍散布 100 L/10 a		21, 29	圃場B:0.329 (5回, 21日) (#)	圃場B:0.30/0.029 (5回, 21日) (#)		
てんさい (茎葉)	2	50.0%水和剤	500倍散布 100 L/10 a	3	30	圃場A:1.90	圃場A:1.68/0.42		
			0.3%種子粉衣 +500倍3又は6 L/m <sup>2</sup> 灌注 +500倍散布100 L/10 a		29	圃場B:1.97	圃場B:1.78/0.24		
はくさい (茎葉)	4	50.0%水和剤	1000倍散布 300, 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.48	圃場A:0.47/0.017		
			1000倍散布 240又は300 L/10 a		7, 14, 21	圃場B:1.17 (3回, 21日)	圃場B:1.16/<0.01 (3回, 21日)		
キャベツ (茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場C:0.64	圃場C:0.62/0.02		
			1000倍散布300 L/10 a		7, 14, 21	圃場D:0.16	圃場D:0.15/<0.01		
みぶな (茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	2	160	圃場A:0.91 (4回, 14日)	圃場A:*0.90/<0.02 (*4回, 14日)		
			種子重量の0.5%種子粉衣		155	圃場B:0.72	圃場B:0.70/<0.02		
のざわな (茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	2	30, 45, 60	圃場A:<0.10	圃場A:<0.05/<0.05		
			1000倍散布150 L/10 a		30, 45, 60	圃場B:<0.10	圃場B:<0.05/<0.05		
ひろしまな (茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	2	21, 30, 35	圃場A:0.80	圃場A:0.76/<0.04		
			1000倍散布150 L/10 a		21, 30, 35	圃場B:2.82	圃場B:2.66/0.16		
畑わさび (根及び根茎)	2	50.0%水和剤	1000倍植時20時間苗浸漬 +500倍灌注3 L/m <sup>2</sup>	1+3	14, 28, 42, 56, 72	圃場A:1.7	圃場A:1.4/0.3		
			1000倍散布150 L/10 a		14, 21, 28	圃場B:1.1	圃場B:1.0/*0.2 (*2回, 21日)		
ごぼう (根部)	2	50.0%水和剤	1000倍植時20時間苗浸漬 +500倍灌注3 L/m <sup>2</sup>	1+3	14, 28, 42, 56, 72	圃場A:1.23 (4回, 42日)	圃場A:1.05/*0.28 (4回, 42日、*3回, 28日)		
			1000倍散布300 L/10 a		3, 7, 14	圃場B:0.50 (4回, 42日)	圃場B:0.30/0.20 (4回, 42日)		
レタス (茎葉)	2	50.0%水和剤	500倍散布300 L/10 a	2, 3, 4	7, 14, 21	圃場A:<0.2	圃場A:<0.1/<0.1		
			500倍散布150 L/10 a		7, 14, 21	圃場B:<0.2	圃場B:<0.1/<0.1		
リーフレタス (茎葉)	4	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.38 (2回, 14日) (#)	圃場A:0.28/<0.1 (2回, 14日) (#)		
			1000倍散布157~200 L/10 a		1, 7, 14, 21	圃場B:1.25 (3回, 21日) (#)	圃場B:1.15/<0.1 (3回, 21日) (#)		
サラダ菜 (茎葉)	4	50.0%水和剤	1000倍散布200及び300 L/10 a	3	3, 7, 21	圃場A:0.03 (3回, 21日)	圃場A:0.02/<0.01 (3回, 21日)		
			1000倍散布167~190 L/10 a		3, 7, 21	圃場B:0.14 (3回, 21日)	圃場B:0.13/<0.01 (3回, 21日)		
くさちしゃ (茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:<0.4	圃場A:<0.2/<0.2		
			1000倍散布157~200 L/10 a		1, 7, 14, 21	圃場B:1.0	圃場B:0.8/<0.2		
葉ごぼう (茎葉及び根)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	2	21, 28, 35	圃場C:3.21	圃場C:3.16/<0.05		
			1000倍散布167~188 L/10 a		21, 28, 35	圃場D:4.65	圃場D:4.60/<0.05		
きざししゃ (茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.4	圃場A:0.2/<0.2		
			1000倍散布200 L/10 a		1, 7, 14, 21	圃場B:0.4 (3回, 3日)	圃場B:0.32/<0.2		
菜ごぼう (茎葉及び根)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	2	21, 28, 35	圃場C:10.2	圃場C:9.75/0.44		
			1000倍散布167~188 L/10 a		21, 28, 35	圃場D:3.48	圃場D:3.42/0.06		
菜ごぼう (茎葉及び根)	2	50.0%水和剤	1000倍散布150 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.45	圃場A:0.40/<0.05		
			1000倍散布300 L/10 a		7, 14, 21	圃場B:1.61	圃場B:1.56/<0.05		
菜ごぼう (茎葉及び根)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	2	21, 28, 35	圃場A:0.34 (2回, 28日)	圃場A:0.30/<0.04 (2回, 28日)		
			1000倍散布300 L/10 a		21, 28, 35	圃場B:0.81 (2回, 28日)	圃場B:0.77/0.04 (2回, 28日)		

## イプロジオンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【イプロジオン/代謝物L】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
たまねぎ (鱗茎)	4	50.0%水和剤	500倍散布150 L/10 a	1, 2, 3	7, 14, 21	圃場A:0.08 (#)	圃場A:0.06/<0.02 (#)
			500倍散布200 L/10 a			圃場B:0.17 (#)	圃場B:0.14/0.03 (#)
	2	40.0%フロアブル	500倍散布150 L/10 a	3	7	圃場C:0.07 (#)	圃場C:0.06/<0.01 (#)
			1000倍散布150 L/10 a			圃場D:0.02 (#)	圃場D:0.01/<0.01 (#)
根深ねぎ (茎葉)	4	50.0%水和剤	1000倍散布150 L/10 a	3	14, 21, 30	圃場A:0.03 (#)	圃場A:0.02/<0.01 (#)
			500倍注1 L/m <sup>2</sup>			圃場B:<0.02 (#)	圃場B:<0.01/<0.01 (#)
葉ねぎ (茎葉)	4	50.0%水和剤	1000倍散布150 L/10 a	3	14, 21	圃場A:0.339	圃場A:0.327/0.02
			500倍注1 L/m <sup>2</sup>			圃場B:0.53 (3回, 21日)	圃場B:0.51/<0.02 (3回, 21日)
	2	50.0%水和剤	1000倍散布150 L/10 a	3	14, 21, 30	圃場A:1.32 (3回, 30日)	圃場A:1.26/0.06 (3回, 30日)
			種子重量の0.5%種子粉衣			圃場B:0.20	圃場B:0.189/<0.02
アスパラガス (茎)	2	50.0%水和剤	2000倍散布300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.86	圃場A:0.76/0.10
わけぎ (茎葉)	3	50.0%水和剤	1000倍散布150 L/10 a	3	14, 21, 27	圃場B:0.21	圃場B:0.20/0.01
			1000倍散布200 L/10 a			圃場A:1.76	圃場A:1.56/0.20
葉たまねぎ (鱗茎及び茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布150 L/10 a	2	14, 21, 30	圃場B:0.28	圃場B:0.22/0.06
			食用ゆり (鱗茎)			圃場A:<0.10	圃場A:<0.05/<0.05
らっきょう (鱗茎)	4	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	2, 3	30	圃場B:<0.10	圃場B:<0.05/<0.05
			1000倍散布300 L/10 a			圃場C:<0.10	圃場C:<0.05/<0.05
	1	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	3	7, 14, 21, 30	圃場A:1.21	圃場A:1.15/0.06
			1000倍散布300 L/10 a			圃場B:0.91	圃場B:0.86/<0.05
にんじん (根部)	2	50.0%水和剤	1000倍散布100 L/10 a	4	14, 30	圃場A:0.48	圃場A:0.08/<0.4
みつば (茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布(根株 養成期) 200 L/10 a +1000倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>	2+1	30, 33, 37	圃場B:0.29	圃場B:0.28/0.01
			1000倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>			圃場C:0.02	圃場C:0.01/<0.01
	2	50.0%水和剤	1000倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>	1	30, 37, 45	圃場D:<0.2	圃場D:<0.1/<0.1
			500倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>			圃場A:<0.2 (3回, 21日) (#)	圃場A:<0.1/<0.1 (3回, 21日) (#)
あしたば (茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布400 L/10 a	3	14, 30	圃場A:0.15	圃場A:0.14/<0.04
ミニトマト (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布(根株 養成期) 200 L/10 a +1000倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>	2+1	30, 33, 37	圃場B:0.35	圃場B:0.34/<0.04
			1000倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>			圃場A:1.3	圃場A:0.8/<0.5
	2	50.0%水和剤	1000倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>	1	30, 37, 45	圃場B:1.9	圃場B:1.4/<0.5
トマト (果実)	2	50.0%水和剤	500倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>	1	30, 37, 45	圃場A:1.98	圃場A:1.92/0.06
			500倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>			圃場B:1.74	圃場B:1.68/0.06
	2	50.0%水和剤	500倍注(伏込時) 2 L/m <sup>2</sup>	1	30, 37, 45	圃場A:2.59 (#)	圃場A:2.48/0.11 (#)
トマト (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布400 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:1.8	圃場A:1.4/<0.4
			1000倍散布400 L/10 a			圃場B:1.1	圃場B:0.7/<0.4
	2	40.0%フロアブル	常温煙霧200 g/5 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.2 (3回, 7日)	圃場A:*1.0/<0.2 (*3回, 7日)
			800倍散布200 L/10 a			圃場B:2.21 (3回, 3日)	圃場B:*2.16/<0.2 (*3回, 3日)
	2	20.0%くん煙剤	くん煙100 g/300 m <sup>3</sup>	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.6 (#)	圃場A:1.4/<0.2 (#)
			くん煙100 g/300 m <sup>3</sup>			圃場B:2.8 (#)	圃場B:2.6/<0.2 (#)
	2	50.0%水和剤	500倍300 L/10 a散布	3, 4, 5	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.4	圃場A:<0.2/<0.2
			500倍250 L/10 a散布			圃場B:0.7 (3回, 3日)	圃場B:0.5/<0.2 (3回, 3日)
			種子重量の0.5%種子粉衣			圃場A:3.45 (3回, 3日) (#)	圃場A:*3.35/<0.1 (*3回, 3日) (#)
			1000倍150~250 L/10 a散布			圃場B:5.4 (#)	圃場B:5.3/0.20 (#)
1000倍300 L/10 a散布			圃場A:<0.1			圃場A:<0.05/<0.05	
使用量300 g/6 L/10 a、常温煙霧			圃場B:<0.1			圃場B:<0.05/<0.05	
1	20.0%くん煙剤	くん煙113 g/300 m <sup>3</sup>	4	1, 3, 7	圃場A:1.23	圃場A:1.22/<0.02	
		くん煙113 g/300 m <sup>3</sup>			圃場B:0.858 (3回, 7日)	圃場B:0.843/0.02 (3回, 7日)	
2	23%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場C:0.96 (3回, 3日)	圃場C:0.86/<0.1 (3回, 3日)	
		38倍常温煙霧 5 L/10 a			圃場A:0.82	圃場A:0.72/<0.1	
	50.0%水和剤	1500倍散布 200 L/10 a	1, 2, 4	1, 3	圃場A:0.06 (4回, 1日) (#)	圃場A:0.05/<0.01 (4回, 1日) (#)	
		1000倍散布180~209 L/10 a			圃場B:0.51 (4回, 7日) (#)	圃場B:0.50/<0.01 (4回, 7日) (#)	
7	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.24 (4回, 3日) (#)	圃場A:0.22/<0.02 (4回, 3日) (#)	
		1000倍散布200 L/10 a			圃場B:0.77 (4回, 7日) (#)	圃場B:*0.74/**0.04 (*4回, 7日、**4回, 1日) (#)	
2	20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	4	1, 3	圃場A:0.5 (2回, 1日) (#)	圃場A:0.39/<0.1 (2回, 1日) (#)	
		くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>			圃場B:0.9 (2回, 1日)	圃場B:0.79/<0.1 (2回, 1日)	
ピーマン (果実)	7	50.0%水和剤	1000倍散布180~209 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:3.97	圃場A:3.94/0.03
			1000倍散布200 L/10 a			圃場B:4.92	圃場B:4.84/0.08
	2	20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	4	1, 3	圃場C:2.45	圃場C:2.43/<0.02
			くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>			圃場D:6.32	圃場D:6.28/0.04
2	20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	4	1, 3	圃場E:6.76	圃場E:6.72/*0.05 (*4回, 3日)	
		くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>			圃場F:1.24	圃場F:1.22/0.02	
2	20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	4	1, 3	圃場G:1.05	圃場G:1.04/0.01	
		くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>			圃場A:0.67	圃場A:0.66/0.02	
2	20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	4	1, 3	圃場B:0.23	圃場B:0.22/<0.01	
		くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>			圃場A:0.23	圃場A:0.22/<0.01	

## イプロジオンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【イプロジオン/代謝物L】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
なす (果実)	4	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	4	1, 3	圃場A:1.42 圃場B:1.12 圃場C:0.89 圃場D:1.25	圃場A:1.40/<0.02 圃場B:1.10/<0.02 圃場C:0.88/<0.01 圃場D:1.24/<0.01	
	1		1000倍散布 156 L/10 a	1	1, 3, 7, 14	圃場A:1.26	圃場A:1.26/- (1回, 1日)	
	2		1000倍0.15 mL/花単花処理	1	18, 19, 20 17, 23, 24, 25	圃場A:<0.008 (4回, 18日) (#) 圃場B:0.016 (4回, 17日) (#)	圃場A:<0.008/- (4回, 18日) (#) 圃場B:0.016/- (4回, 17日) (#)	
	4	40.0%フロアブル	1000倍散布160~200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.83	圃場A:0.82/0.01	
	1000倍散布300 L/10 a		圃場B:2.83 (4回, 3日)			圃場B:*2.77/0.08 (*4回, 3日)		
	1000倍散布200 L/10 a	圃場C:0.41	圃場C:0.40/<0.01					
	2	20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	4	1, 3, 7	圃場D:1.77 圃場A:0.17 圃場B:0.20	圃場D:1.76/<0.01 圃場A:0.16/<0.01 圃場B:0.19/<0.01	
	2	23%フロアブル	1000倍散布200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.52 (4回, 3日) (#) 圃場B:0.34 (#)	圃場A:0.51/<0.01 (4回, 3日) (#) 圃場B:0.33/<0.01 (#)	
	ししとう (果実)	2	50.0%水和剤	2000倍散布200 L/10 a 2000倍散布350 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.8 圃場B:2.1	圃場A:0.7/<0.1 圃場B:2.0/<0.1
		2	20.0%くん煙剤	くん煙100 g/300 m <sup>3</sup>	2	1, 3, 7	圃場A:0.6 圃場B:0.7	圃場A:0.4/<0.2 圃場B:0.5/<0.2
甘長とうがらし (果実)	2	50.0%水和剤	2000倍散布300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:3.0 圃場B:1.6	圃場A:2.9/<0.1 圃場B:1.5/<0.1	
	2	20.0%くん煙剤	くん煙100 g/300 m <sup>3</sup>	2	1, 3, 7	圃場A:0.6 圃場B:0.5 (3回, 3日)	圃場A:0.4/<0.2 圃場B:0.32/<0.2	
きゅうり (果実)	3	50.0%水和剤	1000倍散布333 L/10 a	4	1, 4, 8	圃場A:0.97	圃場A:0.80/0.17	
	1000倍散布200 L/10 a	圃場B:1.72	圃場B:1.70/0.02					
	1000倍散布280 L/10 a	圃場C:1.36	圃場C:1.32/0.04					
	2	50.0%水和剤	30倍常温煙霧10 L/10 a (333 g/10 L/10 a)	1, 2, 3, 4	1, 4, 6, 7, 8	圃場A:0.63 (3回, 1日) (#)	圃場A:*0.59/0.05 (*3回, 1日、**2回, 8日) (#)	
	38倍常温煙霧5 L/10 a (131 g/10 L/10 a)		1, 2, 4	1, 3	圃場A:0.3 (1回, 1日)	圃場A:0.19/<0.1 (1回, 1日)		
	3	50.0%水和剤	500倍散布 200又は250, 300 L/10 a	1, 3, 4	1, 3, 7	圃場A:2.07 (3回, 1日) (#) 圃場A:2.3 (#)	圃場A:*1.95/**0.15(*3回, 1日、**4回, 7日) (#) 圃場A:2.2/<0.1 (#)	
	2	23%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.58 (4回, 1日) (#) 圃場B:0.79 (4回, 1日) (#) 圃場A:0.98 (3回, 1日)	圃場A:0.52/0.06 (4回, 1日) (#) 圃場B:0.70/0.09 (4回, 1日) (#) 圃場A:0.86/0.12 (3回, 1日)	
	2	20.0%くん煙剤	くん煙113 g/300 m <sup>3</sup>	3, 6	1, 3, 7	圃場B:0.20 (3回, 1日)	圃場B:0.18/*0.025 (3回, 1日、*3回, 7日)	
	すいか (果肉)	4	50.0%水和剤	750倍散布150 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.04 圃場B:0.14 圃場C:0.05 圃場D:0.17	圃場A:*0.02/<0.02 (*4回, 3日) 圃場B:0.12/<0.02 圃場C:0.04/<0.01 圃場D:0.16/0.01
		1000倍散布247~262 L/10 a		圃場A:0.064 (4回, 7日) 圃場B:0.112			圃場A:0.056/0.008 (4回, 7日) 圃場B:0.107/*0.005 (*4回, 7日)	
1000倍散布279 L/10 a		圃場C:0.0245		圃場C:0.0218/0.0027				
200倍散布204 L/10 a		圃場A:0.119 (#)		圃場A:0.113/0.006 (#)				
2		40.0%フロアブル	1000倍散布150 L/10 a 1000倍散布300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.05 (#) 圃場B:0.15 (#)	圃場A:0.04/<0.01 (#) 圃場B:0.14/0.01 (#)	
1		20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	4	1, 4, 7	圃場A:0.03 圃場B:0.03	圃場A:0.02/<0.01 圃場B:0.02/<0.01	
すいか (果皮)		2	50.0%水和剤	1000倍247~262 L/10 a散布	4	1, 3, 7	圃場A:1.536 圃場B:1.17 (4回, 3日)	圃場A:1.47/0.066 圃場B:1.15/*0.05 (4回, 3日、*4回, 7日)
	1000倍散布279 L/10 a	圃場C:2.342		圃場C:2.33/0.012				
	200倍散布204 L/10 a	圃場A:7.21 (#)		圃場A:7.18/0.025 (#)				
すいか (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布247~262 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.475 (4回, 7日) 注3) 圃場B:0.581 注3) 圃場C:0.687 注3)	圃場A:0.455/0.02 注3) (4回, 7日) 圃場B:0.571/*0.013 注3) (*4回, 7日) 圃場C:0.682/0.005 注3)	
	1000倍散布279 L/10 a		圃場A:3.26 (#) 注3)			圃場A:3.24/0.015 注3) (#)		
	200倍散布204 L/10 a							

## イプロジオンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【イプロジオン/代謝物L】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
メロン (果肉)	4	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.06 (4回, 7日)	圃場A:0.05/<0.01 (4回, 7日)
			1000倍散布200 L/10 a			圃場B:0.03	圃場B:0.02/<0.01
	1000倍散布 260又は281 L/10 a		1, 3		圃場C:0.08 (4回, 3日)	圃場C:0.06/<0.02 (4回, 3日)	
	1000倍希釈散布 277~279 L/10 a				圃場D:<0.04	圃場D:<0.02/<0.02	
	1		1000倍散布 221 L/10 a		1, 3, 7	圃場A:0.013	圃場A:0.008/<0.005
			1000倍希釈散布 277~279 L/10 a			圃場B:0.025	圃場B:0.017/0.0010
			1000倍希釈散布300 L/10 a			圃場C:0.013	圃場C:0.008/<0.005
2	1000倍希釈散布254 L/10 a	圃場D:0.0048	圃場D:0.004/<0.0008				
2	40.0%フロアブル	圃場A:0.063 (#)	圃場A:0.058/<0.005 (#)				
2	20.0%くん煙剤	1000倍散布150 L/10 a	圃場A:<0.02 (#)	圃場A:<0.01/<0.01 (#)			
メロン (果皮)	2	50.0%水和剤	1000倍希釈散布300 L/10 a 200倍希釈散布254 L/10 a	4	1	圃場A:39.7 圃場B:48.9 (#)	圃場A:39.5/0.226 圃場B:48.8/0.065 (#)
メロン (果実)	4	50.0%水和剤	1000倍散布 260又は281 L/10 a	1, 3, 7	圃場A:1.42 (4回, 1日)	圃場A:1.40/*0.023 (*4回, 3日)	
			1000倍希釈散布 277~279 L/10 a		圃場B:3.11	圃場B:3.08/*0.04 (*4回, 7日)	
			1000倍希釈散布221 L/10 a		圃場C:1.13	圃場C:1.12/0.008	
	1		1000倍希釈散布300 L/10 a	圃場D:3.72注3)	圃場D:3.70/0.02注3)		
1	200倍希釈散布254 L/10 a	圃場A:9.3 (#)注3)	圃場A:9.28/0.020注3) (#)				
漬物用メロン (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布150 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A:<0.1 圃場B:<0.1	圃場A:<0.05/<0.05 圃場B:<0.05/<0.05
オクラ (果実)	2	50.0%水和剤	2000倍散布150 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.61 圃場B:1.01	圃場A:0.59/0.03 圃場B:0.99/0.04
さやえんどう (さや)	2	50.0%水和剤	1500倍散布300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:10.7 (3回, 3日) 圃場B:2.68	圃場A:*10.6/<0.1 (*3回, 3日) 圃場B:2.64/<0.04
	2		1000倍散布200 L/10 a	1, 3	1, 3, 7 1, 3, 6	圃場A:18.5 (#) 圃場B:3.5 (3回, 3日) (#)	圃場A:18.4/*0.09 (*3回, 3日) (#) 圃場B:3.48/<0.02 (*3回, 3日) (#)
実えんどう (子実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.09 圃場B:0.11 (3回, 14日)	圃場A:0.08/<0.01 圃場B:*0.10/<0.01 (*3回, 14日)
えだまめ (さや)	4	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	3	21, 28, 35, 42	圃場A:0.09 (3回, 28日)	圃場A:0.05/<0.04 (3回, 28日)
			1000倍散布179~192 L/10 a			圃場B:0.06 (3回, 28日)	圃場B:0.01/0.05 (3回, 28日)
			1000倍散布200 L/10 a			圃場C:1.47 (3回, 28日)	圃場C:0.63/0.84 (3回, 28日)
2	50.0%水和剤	1000倍散布250 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場D:2.69 (3回, 28日)	圃場D:2.43/*0.50 (3回, 28日、*3回, 35日)	
圃場A:4.5 圃場B:1.7	圃場A:4.4/<0.1 圃場B:1.6/<0.1						
未成熟そらまめ (豆)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a 1000倍散布250 L/10 a	3	1, 3, 7 1, 3, 7, 14	圃場A:0.16 (3回, 3日) 圃場B:0.08 (3回, 3日)	圃場A:0.14/*0.03 (3回, 3日、*3回, 7日) 圃場B:0.06/0.02 (3回, 3日)
うど (茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布(根株養成期)400 L/10 a +1000倍灌注(伏込時)6 L/m <sup>2</sup>	3+1	21, 28	圃場A:<0.5 圃場B:<0.5	圃場A:<0.25/<0.25 圃場B:<0.25/<0.25
			圃場A:0.22 (4回, 15日) 圃場B:0.20 (5回, 60日) (#)	圃場A:0.18/<0.04 (4回, 15日) 圃場B:0.16/<0.04 (5回, 60日) (#)			
薬用いんじん (根)	2	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	1, 2, 4 5	15, 60 60	圃場A:0.51 (3回, 8日) 圃場B:0.57	圃場A:0.50/<0.02 (3回, 8日) 圃場B:0.56/<0.02
			圃場A:0.06 (#) 圃場B:0.17 (#)	圃場A:0.05/<0.01 (#) 圃場B:0.16/<0.01 (#)			
みかん (果肉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布500 L/10 a	3	8, 15, 31 7, 14, 30	圃場A:0.02 (3回, 15日) 圃場B:<0.02 (3回, 14日)	圃場A:0.01/<0.01 (3回, 15日) 圃場B:<0.01/<0.01 (3回, 14日)
	2	23%フロアブル	800倍散布500 L/10 a	3	1, 3, 7 4, 7, 15 3, 7, 14	圃場A:23.3 (3回, 8日) 圃場B:20.5	圃場A:23.3/0.04 (3回, 8日) 圃場B:19.6/0.9
みかん (果皮)	2	50.0%水和剤	1000倍散布500 L/10 a	3	8, 15, 31 7, 14, 30	圃場A:12.2 (#) 圃場B:30.7 (#)	圃場A:12.2/0.04 (#) 圃場B:30.6/0.06 (#)
	2	23%フロアブル	800倍散布500 L/10 a	3	1, 3, 7 4, 7, 15 3, 7, 14	圃場A:3.34 (3回, 15日) 圃場B:1.03	圃場A:3.31/0.03 (3回, 15日) 圃場B:1.02/*0.02 (*3回, 14日)
みかん (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布500 L/10 a	3	8, 15, 31 7, 14, 30	圃場A:6.32注3) (3回, 8日) 圃場B:3.72注3)	圃場A:6.29/0.025注3) (3回, 8日) 圃場B:3.56/0.168注3)
	2	23%フロアブル	800倍散布500 L/10 a	3	1, 3, 7 4, 7, 15 3, 7, 14	圃場A:2.88注3) (#) 圃場B:5.75注3) (#)	圃場A:2.86/0.017注3) (#) 圃場B:5.73/0.019注3) (#)
	2	20.0%くん煙剤	0.3 g/m <sup>3</sup> くん煙	3	4, 7, 15 3, 7, 14	圃場A:0.551注3) (3回, 15日) 圃場B:0.252注3) (3回, 14日)	圃場A:0.538/0.013注3) (3回, 15日) 圃場B:0.239/0.013注3) (3回, 14日)
なつみかん (果肉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布400 L/10 a	3	1, 8 1, 7	圃場A:0.07 (3回, 8日) 圃場B:0.02	圃場A:0.06/<0.01 (3回, 8日) 圃場B:0.01/<0.01
なつみかん (果皮)	2	50.0%水和剤	1000倍散布400 L/10 a	3	1, 8 1, 7	圃場A:2.14 (3回, 8日) 圃場B:2.88	圃場A:2.13/0.01 (3回, 8日) 圃場B:2.87/<0.01
なつみかん (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布400 L/10 a	3	1, 8	圃場A:0.684注3) (3回, 8日)	圃場A:0.674/<0.01注3) (3回, 8日)
	1, 7				圃場B:0.97注3)	圃場B:0.96/<0.01注3)	
	1, 3, 7				圃場A:1.84 圃場B:1.10	圃場A:1.82/<0.02 圃場B:1.08/<0.02	
2	23%フロアブル	800倍散布400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:2.87 (#) 圃場B:2.12 (#)	圃場A:2.85/<0.02 (#) 圃場B:2.10/<0.02 (#)	
すだち (果実)	1	50.0%水和剤	1000倍散布500 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:3.75	圃場A:3.72/*0.04 (3回, 21日)
かぼす (果実)	1	50.0%水和剤	1000倍散布550 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:2.20 (3回, 14日)	圃場A:2.18/0.02 (3回, 14日)
ゆず (果実)	2	23%フロアブル	800倍散布400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:2.58 (#) 圃場B:2.57 (#)	圃場A:2.56/<0.02 (#) 圃場B:2.55/<0.02 (#)



## イプロジションの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【イプロジション/代謝物L】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
りんご (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布100 L/4樹	3, 6	14, 21, 30, 60	圃場A:1.015 (3回, 14日)	圃場A:0.967/*0.050 (3回, 14日、*3回, 60日)
			1000倍散布600 L/10 a			圃場B:1.08 (3回, 59日)	
	2	50.0%水和剤	500倍散布500~700 L/10 a	1, 10	3, 7, 10	圃場A:2.30 (1回, 10日) (#) 圃場B:0.43 (1回, 10日) (#)	圃場A:2.25/*0.05 (1回, 10日) (#) 圃場B:0.38/*0.05 (1回, 10日) (#)
	2	50.0%水和剤	1000倍散布500 L/10 a	5	14	圃場A:1.85 圃場B:2.85	圃場A:1.84/0.01 圃場B:2.84/0.01
2	40.0%フロアブル	1000倍散布500 L/10 a	圃場A:1.82 (#) 圃場B:2.73 (#)			圃場A:1.80/0.02 (#) 圃場B:2.72/0.01 (#)	
日本なし (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布400 L/10 a	5	7, 14	圃場A:2.33 圃場B:0.06 (5回, 15日)	圃場A:2.28/0.05 圃場B:0.05/0.01 (5回, 15日)
びわ (果肉)	3	50.0%水和剤	1000倍散布600 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.10 (3回, 3日) 圃場B:0.45	圃場A:*0.09/*0.01 (*3回, 3日) 圃場B:0.44/*0.01 (*3回, 14日)
			1000倍散布400 L/10 a			圃場C:1.62/-	圃場C:1.62/-
	3	50.0%水和剤	1000倍散布620 L/10 a	3	1, 3, 8	圃場A:0.54 (3回, 8日) 圃場B:0.13	圃場A:0.50/0.04 (3回, 8日) 圃場B:0.12/*0.01
	1000倍散布553 L/10 a		圃場C:0.24 (3回, 8日)			圃場C:0.21/0.03 (3回, 8日)	
3	50.0%水和剤	1000倍散布620 L/10 a	3	1, 3, 8	圃場A:48.5 圃場B:15.3 圃場C:34.8	圃場A:45.8/2.72 圃場B:14.7/0.62 圃場C:34.6/*0.21 (*3回, 8日)	
3	50.0%水和剤	1000倍散布553 L/10 a	3	1, 3, 8	圃場A:6.59 <sup>注4)</sup> 圃場B:3.30 <sup>注4)</sup> 圃場C:5.02 <sup>注4)</sup>	圃場A:6.22/0.368 <sup>注4)</sup> 圃場B:3.16/0.136 <sup>注4)</sup> 圃場C:4.98/*0.051 (*3回, 8日) <sup>注4)</sup>	
もも (果肉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布400 L/10 a	3	1, 3	圃場A:0.25 (3回, 3日) 圃場B:0.37 (3回, 3日)	圃場A:*0.24/*0.02 (*3回, 3日) 圃場B:0.36/*0.02 (*3回, 3日)
			1000倍散布600 L/10 a			圃場A:0.73 (2回, 1日) (#) 圃場B:2.83 (3回, 3日) (#)	圃場A:0.70/*0.03 (2回, 1日) (#) 圃場B:2.80/*0.03 (3回, 3日) (#)
	2	50.0%水和剤	500倍散布400 L/10 a 500倍散布300 L/10 a	2, 3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.22 (3回, 14日) 圃場B:0.29	圃場A:0.20/*0.03 (*3回, 14日) 圃場B:0.28/*0.03 (*3回, 14日)
	2	40.0%フロアブル	1000倍散布360 L/10 a 1000倍散布400 L/10 a	3		圃場A:0.23 (3回, 1日) (#) 圃場B:58.4 (3回, 3日)	圃場A:0.21/*0.02 (3回, 1日) (#) 圃場B:58.2/0.18 (3回, 3日)
1	23%フロアブル	600倍散布600 L/10 a	3	1, 3	圃場A:62.5 圃場B:140 (2回, 1日) (#) 圃場C:19.5 (3回, 3日) (#)	圃場A:62.4/*0.16 (*3回, 3日) 圃場B:140/*0.05 (2回, 1日) (#) 圃場C:19.4/*0.05 (3回, 3日) (#)	
2	50.0%水和剤	500倍散布400 L/10 a 500倍散布300 L/10 a	2, 3	1, 3, 7, 14	圃場A:32.3 圃場B:33.7	圃場A:32.1/*0.40 (*3回, 14日) 圃場B:33.4/*0.48 (*3回, 14日)	
2	40.0%フロアブル	1000倍散布360 L/10 a 1000倍散布400 L/10 a	3		圃場A:14.0 (3回, 1日) (#) 圃場B:8.96 <sup>注5)</sup> (3回, 3日) 圃場C:9.65 <sup>注5)</sup>	圃場A:13.8/0.17 (3回, 1日) (#) 圃場B:8.92/0.042 <sup>注5)</sup> (3回, 3日) 圃場C:9.63/*0.039 <sup>注5)</sup> (*3回, 3日)	
1	23%フロアブル	600倍散布600 L/10 a	3	1, 3	圃場A:21.5 (2回, 1日) <sup>注5)</sup> 圃場B:5.10 (3回, 3日) <sup>注5)</sup> 圃場C:4.65 <sup>注4)</sup> 圃場D:5.92 <sup>注4)</sup>	圃場A:21.5/0.031 <sup>注5)</sup> (2回, 1日) (#) 圃場B:5.07/0.031 (3回, 3日) <sup>注5)</sup> (#) 圃場A:4.61/*0.081 <sup>注4)</sup> (*3回, 8日) 圃場B:5.86/*0.092 <sup>注4)</sup> (*3回, 8日)	
2	40.0%フロアブル	1000倍散布360 L/10 a 1000倍散布400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:2.27 <sup>注5)</sup> (3回, 1日) (#)	圃場A:2.23/0.041 <sup>注5)</sup> (3回, 1日) (#)	
1	23%フロアブル	600倍散布600 L/10 a	3	1, 3	圃場A:0.94 (#) 圃場B:38.5 (#) 圃場C:6.36 <sup>注4)</sup> (#)	圃場A:0.82/0.12 (#) 圃場B:37.6/0.94 (#) 圃場C:6.12/0.24 <sup>注4)</sup> (#)	
ネクタリン (果肉)	1	23%フロアブル	600倍散布600 L/10 a	3	1, 4	圃場A:3.3 (#) 圃場B:3.0 (#)	圃場A:3.2/*0.1 (#) 圃場B:2.9/*0.1 (#)
ネクタリン (果皮)	1	23%フロアブル					
ネクタリン (果実)	1	23%フロアブル					
2	40.0%フロアブル	800倍散布15 L/樹 800倍散布400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:5.38 圃場B:4.70 圃場C:3.27 圃場D:5.82 圃場E:3.07	圃場A:5.36/0.02 圃場B:4.66/*0.08 (*3回, 7日) 圃場C:3.22/*0.06 (*3回, 14日) 圃場D:5.76/0.06 圃場E:3.02/0.05	
あんず (果実)	5	50.0%水和剤	1000倍散布400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.68 (3回, 7日) 圃場B:0.89	圃場A:*0.67/*0.01 (*3回, 7日) 圃場B:0.88/*0.01
			1000倍散布333~350 L/10 a散布 1000倍散布300 L/10 a			圃場A:0.54 (3回, 7日) 圃場B:0.16 (3回, 7日)	圃場A:0.513/*0.03 (3回, 7日) 圃場B:0.131/*0.03 (3回, 7日)
すもも (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.94 圃場B:0.76	圃場A:1.90/0.05 圃場B:0.72/0.04
			1000倍散布50 L/枝 1000倍散布300 L/10 a			2	7, 14, 21, 45
	2	50.0%水和剤	1500倍散布50 L/枝 1500倍散布300 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:10.6 (3回, 7日) (#) 圃場B:<0.02 (3回, 7日) (#)	圃場A:10.6/0.02 (3回, 7日) (#) 圃場B:<0.01/*0.01 (3回, 7日) (#)
	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:6.88 圃場B:6.38 圃場C:7.47 圃場D:7.15 圃場E:7.51 圃場F:6.13 圃場G:7.63 圃場H:6.64 圃場I:5.54 圃場J:8.09 圃場K:4.34	圃場A:6.84/0.04 圃場B:6.34/0.04 圃場C:7.42/*0.05 (*3回, 3日) 圃場D:7.09/*0.07 (*3回, 3日) 圃場E:7.39/0.12 圃場F:6.06/0.07 圃場G:7.54/*0.10 (*3回, 3日) 圃場H:6.61/*0.06 (*3回, 3日) 圃場I:5.46/*0.16 (*3回, 3日) 圃場J:8.05/*0.07 (*3回, 3日) 圃場K:4.30/0.04
おうとう (果実)	13	50.0%水和剤	1000倍散布100 L/4樹 1000倍散布700 L/10 a 1000倍散布100 L/10 a 1000倍散布500 L/10 a 1000倍散布300 L/10 a 1000倍散布400 L/10 a	2, 3	1, 3	圃場A:6.88 圃場B:6.38 圃場C:7.47 圃場D:7.15 圃場E:7.51 圃場F:6.13 圃場G:7.63 圃場H:6.64 圃場I:5.54 圃場J:8.09 圃場K:4.34	圃場A:6.84/0.04 圃場B:6.34/0.04 圃場C:7.42/*0.05 (*3回, 3日) 圃場D:7.09/*0.07 (*3回, 3日) 圃場E:7.39/0.12 圃場F:6.06/0.07 圃場G:7.54/*0.10 (*3回, 3日) 圃場H:6.61/*0.06 (*3回, 3日) 圃場I:5.46/*0.16 (*3回, 3日) 圃場J:8.05/*0.07 (*3回, 3日) 圃場K:4.30/0.04
			1000倍散布300 L/10 a 1000倍散布200 L/10 a 1500倍散布500 L/10 a 1000倍散布600 L/10 a 1000倍散布500 L/10 a			3	1, 3
	5	40.0%フロアブル	1000倍散布200 L/10 a	3	1, 3	圃場A:6.98 (#) 圃場B:8.33 (3回, 3日) (#) 圃場C:5.49 圃場D:4.62 圃場E:3.34	圃場A:6.88/0.10 (#) 圃場B:8.24/0.09 (3回, 3日) (#) 圃場C:5.41/0.08 圃場D:4.59/*0.04 (*3回, 3日) 圃場E:3.34/-
	50.0%水和剤		1300倍散布20 L/樹			圃場A:1.23 (3回, 3日) (#)	圃場A:1.23/- (3回, 3日) (#)
1	23%フロアブル	600倍散布20 L/樹	3	1, 3	圃場A:1.23 (3回, 3日) (#)	圃場A:1.23/- (3回, 3日) (#)	

## イプロジオンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【イプロジオン/代謝物L】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
いちご(果実)	2	50.0%水和剤	1500倍散布110 L/10 a	4	1, 3, 7, 14	圃場A:3.48	圃場A:3.42/0.064
			1500倍散布100 L/10 a			圃場B:1.44	圃場B:1.42/<0.02
	2	40.0%フロアブル	1000倍散布200 L/10 a	1, 2, 3	1, 3, 7	圃場A:3.97	圃場A:3.96/0.01
			500倍散布130 L/10 a			圃場B:2.95	圃場B:2.94/0.01
	2	50.0%水和剤	500倍散布100 L/10 a	4	1, 3	圃場A:1.23 (1回, 1日) (#)	圃場A:1.21/<0.04 (1回, 1日) (#)
2	23%フロアブル	800倍散布200 L/10 a	4	1, 3	圃場B:18.7 (1回, 1日) (#)	圃場B:18.7/*0.05 (1回, 1日、3回, 1日) (#)	
2	20.0%くん煙剤	113 g/300 m <sup>3</sup> くん煙	4	1, 3, 7	圃場A:3.61 (#)	圃場A:3.52/*0.18 (*4回, 3日) (#)	
2	20.0%くん煙剤	113 g/300 m <sup>3</sup> くん煙	4	1, 3, 7	圃場B:3.23 (#)	圃場B:3.16/0.07 (#)	
ハスカップ(果実)	2	40.0%フロアブル	1000倍散布1 L/樹	3	1, 3, 7	圃場A:2.93	圃場A:2.88/<0.05
ふさすぐり(果実)	2	40.0%フロアブル	1000倍散布0.3 L/樹	3	1, 3, 7	圃場B:0.74	圃場B:0.69/<0.05
食用桑(果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布100 L/10 a	2	14, 21, 28, 35	圃場A:1.1	圃場A:1.0/<0.1
ぶどう(果実)	4	50.0%水和剤	1000倍散布400 L/10 a	3	14, 21, 30, 45, 60	圃場A:1.1	圃場A:1.0/<0.1
			1000倍散布300 L/10 a			圃場B:1.1 (3回, 3日)	圃場B:1.0/<0.1 (3回, 3日)
	2	50.0%水和剤	常温煙霧300 g/9 L/10 a	1, 3	60	圃場A:2.0 (1回, 3日)	圃場A:*1.5/<0.5 (*1回, 3日)
			500倍散布200~350 L/10 a			圃場B:2.8	圃場B:2.3/<0.5
	2	40.0%フロアブル	1000倍散布400 L/10 a	3	14, 21, 28, 45, 60	圃場A:0.7	圃場A:0.5/<0.2
						圃場B:2.0	圃場B:1.8/<0.2
	2	20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	3	35, 50	圃場A:1.04	圃場A:0.97/0.07
						圃場B:1.72	圃場B:1.66/0.06
	2	50.0%水和剤	500倍散布200~350 L/10 a	1, 2, 3	7, 14, 28	圃場C:0.69	圃場C:0.67/<0.03
						圃場D:0.78	圃場D:0.74/0.04
2	40.0%フロアブル	1000倍散布400 L/10 a	3	7, 14, 29	圃場A:0.40	圃場A:0.38/<0.03	
					圃場B:0.55	圃場B:0.52/0.04	
2	20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	3	7, 14, 28	圃場A:7.39 (3回, 28日) (#)	圃場A:7.1/0.29 (3回, 28日) (#)	
					圃場B:13.4 (2回, 29日) (#)	圃場B:13.2/*0.18 (2回, 29日、*3回, 29日) (#)	
2	50.0%水和剤	1000倍散布500 L/10 a	4	1, 7	圃場A:13.2 (3回, 28日) (#)	圃場A:12.7/0.47 (3回, 28日) (#)	
					圃場B:4.75 (3回, 28日) (#)	圃場B:4.50/0.27 (3回, 28日) (#)	
2	40.0%フロアブル	1000倍散布400 L/10 a	3	14, 21, 28, 45, 60	圃場A:13.9 (#)	圃場A:13.5/0.46 (#)	
					圃場B:1.22 (#)	圃場B:1.12/0.12 (#)	
2	20.0%くん煙剤	くん煙99 g/300 m <sup>3</sup>	3	30, 45	圃場A:0.15 (3回, 35日)	圃場A:0.13/0.02 (3回, 35日)	
					圃場B:0.22 (3回, 30日)	圃場B:0.20/0.02 (3回, 30日)	
キウイフルーツ(果肉)	5	50.0%水和剤	1000倍散布500 L/10 a	4	1, 7	圃場A:0.399 (4回, 7日)	圃場A:0.339/<0.06 (4回, 7日)
			1000倍散布800 L/10 a			圃場B:0.25	圃場B:0.24/<0.01
			1000倍散布375 L/10 a			圃場C:0.77	圃場C:0.76/<0.01
	1	50.0%水和剤	200倍散布375 L/10 a	1	1, 7	圃場D:0.21	圃場D:0.17/*0.05 (*4回, 7日)
			1000倍散布380 L/10 a			圃場E:0.135	圃場E:0.135/<0.0008
			1000倍散布333 L/10 a			圃場A:0.903 (#)	圃場A:0.902/0.001 (#)
3	50.0%水和剤	1000倍散布380 L/10 a	1, 3, 7	1, 7	圃場A:0.06	圃場A:0.059/0.001	
		1000倍散布333 L/10 a			圃場B:0.075	圃場B:0.074/0.001	
		1000倍散布350 L/10 a			圃場C:0.051	圃場C:0.050/0.001	
キウイフルーツ(果皮)	5	50.0%水和剤	1000倍散布500 L/10 a	4	1, 7	圃場A:95.8 (4回, 7日)	圃場A:*95.5/<0.3 (*4回, 7日)
			1000倍散布800 L/10 a			圃場B:42.1	圃場B:42.0/0.12
			1000倍散布375 L/10 a			圃場C:92.7	圃場C:92.5/0.19
	1	50.0%水和剤	200倍散布375 L/10 a	1	1, 7	圃場D:54.2	圃場D:53.8/0.43
			1000倍散布380 L/10 a			圃場E:40.7	圃場E:40.4/0.317
			1000倍散布333 L/10 a			圃場A:338 (#)	圃場A:337/0.54 (#)
3	50.0%水和剤	1000倍散布380 L/10 a	1, 3, 7	1, 7	圃場A:40.2	圃場A:39.4/0.834	
		1000倍散布333 L/10 a			圃場B:41.7	圃場B:40.9/0.886	
		1000倍散布350 L/10 a			圃場C:50.7	圃場C:49.4/1.28	
キウイフルーツ(果実)	5	50.0%水和剤	1000倍散布500 L/10 a	4	1, 7	圃場A:15.7 (4回, 7日) 注6)	圃場A:15.6/0.098 (4回, 7日) 注6)
			1000倍散布800 L/10 a			圃場B:9.168 注3)	圃場B:9.135/0.033 注3)
			1000倍散布375 L/10 a			圃場C:20.7 注3)	圃場C:20.67/0.049 注3)
	1	50.0%水和剤	200倍散布375 L/10 a	1	1, 7	圃場D:8.85 注6)	圃場D:8.75/0.102 注6)
			1000倍散布380 L/10 a			圃場E:7.10 注3)	圃場E:7.04/0.055 注3)
			1000倍散布333 L/10 a			圃場A:46.3 (#) 注3)	圃場A:46.2/0.065 (#) 注3)
3	50.0%水和剤	1000倍散布380 L/10 a	1, 3, 7	1, 7	圃場A:7.00	圃場A:6.83/0.169	
		1000倍散布333 L/10 a			圃場B:7.16	圃場B:7.02/0.141	
		1000倍散布350 L/10 a			圃場C:6.86	圃場C:6.67/0.185	
マンゴー(果実)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:3.1	圃場A:2.8/<0.3
いちじく(果実)	2	40.0%フロアブル	1000倍散布300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場B:1.89	圃場B:1.86/0.03
茶(荒茶)	2	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	2	14, 21	圃場A:1.66	圃場A:1.64/0.02
茶(浸出液)	2	50.0%水和剤	1000倍散布200 L/10 a	2	14, 20	圃場A:5.86	圃場A:5.38/0.38
あさつき(茎葉)	2	50.0%水和剤	1000倍散布300 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場B:5.86 (2回, 20日)	圃場B:5.32/0.62 (2回, 20日)
			株元灌水500倍1 L/m <sup>2</sup>			圃場A:1.79	圃場A:1.68/0.11
バジル(茎葉)	2	50.0%水和剤	2000倍散布200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場B:1.75 (2回, 20日)	圃場B:1.61/0.18 (2回, 20日)
			2000倍散布200 L/10 a			圃場A:2.8	圃場A:2.6/<0.2
2	50.0%水和剤	株元灌水500倍1 L/m <sup>2</sup>	3	14, 21, 28	圃場B:2.9 (3回, 21日)	圃場B:*2.7/<0.2 (*3回, 21日)	
					圃場A:1.0 (#)	圃場A:0.8/<0.2 (#)	
2	50.0%水和剤	2000倍散布200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場B:1.2 (#)	圃場B:1.0/<0.2 (#)	
					圃場A:6.2	圃場A:5.9/<0.3	
2	50.0%水和剤	2000倍散布200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場B:10.3	圃場B:10.0/<0.3	

## イプロジオンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	各化合物の残留濃度 (mg/kg) <sup>注2)</sup> 【イプロジオン/代謝物L】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
畑わさび (葉及び葉柄)	2	50.0%水和剤	1000倍苗浸漬 +500倍灌注3 L/m <sup>2</sup>	1+3	14, 28, 42, 56, 72	圃場A:0.78 (4回, 28日) 圃場B:1.92 (4回, 28日)	圃場A:0.72/0.06 (4回, 28日) 圃場B:1.84/*0.19 (4回, 28日、4回, 42日)
					14, 28, 42, 56 28, 42, 56, 72	圃場A:1.38 (4回, 28日) 圃場B:2.65 (4回, 28日)	圃場A:1.33/<0.05 (4回, 28日) 圃場B:2.60/<0.05 (4回, 28日)
畑わさび (花及び花茎)	2	50.0%水和剤	1000倍苗浸漬 +500倍灌注3 L/m <sup>2</sup>	1+1, 2, 3	14, 32, 62, 91	圃場A:2.68 (4回, 32日)	圃場A:2.42/0.26 (4回, 32日)
					14, 30, 60, 91, 120	圃場B:2.58 (4回, 30日)	圃場B:2.24/*0.57 (4回, 30日、*3回, 30日)
					14, 30, 91, 120	圃場C:1.96	圃場C:1.76/0.20
					14, 30, 91, 120	圃場A:4.91 (#) 圃場B:8.73 (#)	圃場A:4.40/0.51 (#) 圃場B:7.86/0.87 (#)
畑わさび (茎葉)	4	50.0%水和剤	1000倍苗浸漬 +500倍灌注3 L/m <sup>2</sup>	1+3	14, 30, 91, 120	圃場A:4.91 (#) 圃場B:8.73 (#)	圃場A:4.40/0.51 (#) 圃場B:7.86/0.87 (#)
			500倍苗浸漬 +250倍灌注3 L/m <sup>2</sup>	4	14, 30, 91, 120	圃場A:6.59 圃場B:1.34	圃場A:6.48/0.11 圃場B:1.33/<0.01
しそ(茎葉)	2	50.0%水和剤	2000倍散布 152又は185 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:6.59 圃場B:1.34	圃場A:6.48/0.11 圃場B:1.33/<0.01
			2000倍散布 109又は119 L/10 a		14, 21, 28	圃場A:6.59 圃場B:1.34	圃場A:6.48/0.11 圃場B:1.33/<0.01

- : 分析せず

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) イプロジオン及び代謝物Lの合計濃度 (イプロジオンに換算した値) を示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物Lの残留濃度は、イプロジオン濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

注3) 果肉と果皮の重量比から計算した。

注4) 果肉、果皮及び種子の重量比から計算した。

注5) 果肉、果皮及び種子の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、ももそれぞれの割合を果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。

注6) 果肉及び果皮の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、キウイフルーツの割合を果肉84%及び果皮16%として果実全体の残留濃度を算出した。

## イプロジオンの作物残留試験一覧表 (フィリピン)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	各化合物の残留濃度 (mg/kg) <sup>注2)</sup> 【イプロジオン/代謝物L】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
バナナ (果肉) <sup>注3)</sup>	3	50%フロアブル	3 mL/1 L water	1	0	圃場A:0.400	圃場A:0.397/-
	3		6 mL/1 L water			圃場B:0.801	圃場B:0.796/-
	3	50%フロアブル	3 mL/1 L water	1	0	圃場C:1.21	圃場C:1.20/-
						圃場A:1.09 (#)	圃場A:1.08/- (#)
3	6 mL/1 L water	圃場B:1.11 (#)	圃場B:1.10/- (#)				
3	圃場C:1.05 (#)	圃場C:1.04/- (#)					
バナナ (果実)	3	50%フロアブル	3 mL/1 L water	1	0	圃場A:1.45	圃場A:1.44/-
	3		6 mL/1 L water			圃場B:2.90	圃場B:2.88/-
	3	50%フロアブル	3 mL/1 L water	1	0	圃場C:4.14	圃場C:4.11/-
						圃場A:3.95 (#)	圃場A:3.92/- (#)
3	6 mL/1 L water	圃場B:4.00 (#)	圃場B:3.97/- (#)				
3	圃場C:3.80 (#)	圃場C:3.77/- (#)					

- : 分析せず

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) イプロジオン及び代謝物Lの合計濃度 (イプロジオンに換算した値) を示した。代謝物Lを測定していないため、トマトの残留試験 (JMPR2001Evaluation) のイプロジオンと代謝物Lの比から、換算係数 (1.008) を求め、イプロジオンの残留濃度にかけて、合計残留濃度を求めた。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

注3) 果肉の残留濃度は果実と果肉の残留濃度比 (0.276) "Iprodione Residues on Bananas (The Philippines, 1980)" を果実の残留濃度に乘じて求めた。

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)		3.0		10		※1
小麦		10				
大麦	2	10		2		
ライ麦		10				
とうもろこし		10				
そば		10				
その他の穀類	10	10	○			2.00,4.44(¥)(ほとむぎ)
大豆	0.1	0.2	○	0.1		
小豆類	0.2	1.0	○	0.1		0.01~0.08(n=4)(いんげんまめ)
えんどう	0.1	0.2	○	0.1		
そら豆	0.1	0.2	○	0.1		
らっかせい	0.1	0.5	○			<0.01,0.02(¥)
その他の豆類	0.1	0.2	○	0.1		
ばれいしょ	0.08	0.5	○			0.01~0.041(#)(n=4)
さといも類(やつがしらを含む。)		0.1				
かんしょ		0.1				
やまいも(長いもをいう。)		0.1				
こんにやくいも		0.1				
その他のいも類		0.1				
てんさい	0.7	1.0	○	0.1		0.013~0.30(n=4)
さとうきび		0.05				
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
かぶ類の根	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
かぶ類の葉	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
西洋わさび	0.1	5.0	○	0.1		
クレソン	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
はくさい	3	5.0	○			0.15~1.16(n=4)
キャベツ	2	5.0	○			0.70,0.90(¥)
芽キャベツ	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
ケール	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
こまつな	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
きょうな	5	5.0	○			0.76,2.66(¥)(みぶな)
チンゲンサイ	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
カリフラワー	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
ブロッコリー	0.01	25	○	25		種子粉衣(野菜類)※1,※2
その他のあぶらな科野菜	5	5.0	○			0.06,1.66(¥)(のぎわな)
ごぼう	0.3	5.0	○			<0.1,<0.1(¥)
サルシフィー	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
アーティチョーク	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
チコリ	1	1.0	○	1		
エンダイブ	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
しゅんぎく	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	25	10	○・申	25		
その他のきく科野菜	5	5.0	○	0.1		0.40,1.56(¥)(くちしゃ)
たまねぎ	0.3	0.5	○	0.2		0.01~0.14(#)(n=4)
ねぎ(リーキを含む。)	4	5.0	○			0.189~1.56(n=4)
にんにく		0.1				
にら	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
アスパラガス	3	5.0	○			0.86,1.15(¥)
わけぎ	3	5.0	○			0.58,0.93,1.08
その他のゆり科野菜	5	5.0	○			1.96,2.65(¥)(葉たまねぎ)

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
にんじん	1	5.0	○			0.14,0.34(¥)
パースニップ	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
パセリ	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
セロリ	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
みつば	5	5.0	○			1.68,1.92(¥)
その他のせり科野菜	3	5.0	○	0.1		0.7,1.4(¥)(あしたば)
トマト	6	5.0	○	5		1.0~2.6(#)(n=4)(ミニトマト)
ピーマン	15	10	○			1.04~6.72(n=7)
なす	4	5.0	○			0.40~2.77(n=9)
その他のなす科野菜	5	5.0	○			1.5,2.9(¥)(甘長とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	4	5.0	○	2		0.8,1.32,1.7
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	4	5.0	○			(きゅうり参照)
しろりり	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
すいか		10	○			
すいか(果皮を含む。)	2		○			0.455,0.571,0.682
メロン類果実		10	○			
メロン類果実(果皮を含む。)	8		○			1.12~3.70(n=4)
まくわうり		10	○			
まくわうり(果皮を含む。)	0.01		○			種子粉衣(野菜類)※2
その他のうり科野菜	0.2	5.0	○			<0.05,<0.05(¥)(漬物用メロン)
ほうれんそう	0.01	5.0	○			種子粉衣(野菜類)※2
たけのこ		20				
オクラ	2	5.0	○			0.59,0.99(¥)
しょうが	0.1	5.0		0.1		
未成熟えんどう	20	25	○	2		2.64,10.6(¥)(さやえんどう)
未成熟いんげん	2	5.0	○	2		
えだまめ	6	5.0	○	2		0.01~2.43(n=4)
マッシュルーム		5.0				
しいたけ		5.0				
その他のきのこ類		5.0				
その他の野菜	10	20	○	2		1.6,4.4(¥)(未成熟さきげ)
みかん		10				
なつみかんの果実全体		10				
レモン		10				
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)		10				
グレープフルーツ		10				
ライム		10				
その他のかんきつ類果実		10				
りんご		10				
日本なし	5	10	○			0.05,2.28(¥)
西洋なし	5	10	○			(日本なし参照)
マルメロ		10				
びわ		10	○			
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	15		○			3.16,4.98,6.22
もも		10	○			
もも(果皮及び種子を含む。)	20		○	10		2.23~9.63(#)(n=5)
ネクタリン	15	10	○			2.9,3.2,6.12(#)
あんず(アブリコットを含む。)	15	10	○			3.02~5.76(n=5)
すもも(プルーンを含む。)	2	10	○			0.67,0.88(¥)
うめ	5	10	○			0.72,1.90(¥)
おうとう(チェリーを含む。)	20	10	○	10		3.34~8.24(#)(n=15)

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
いちご	10	20	○	10		
ラズベリー	30	5.0		30		
ブラックベリー	30	12		30		
ブルーベリー		15				
クランベリー		12				
ハuckleベリー		12				
その他のベリー類果実	5	25	○			1.5,2.3(¥)(ふさすぐり)
ぶどう	30	25	○	10		0.67~13.5(#)(n=6)
かき		10				
バナナ	9	10				【1.44,2.88,4.11(フィリピン)】
キウイ		5.0	○			
キウイ(果皮を含む。)	30		○	5		6.67~20.7(n=8)
パパイヤ		10				
アボカド		10				
パイナップル		10				
グアバ		10				
マンゴー	5	10	○			2.4,2.8(¥)
パッションフルーツ		10				
なつめやし		10				
その他の果実	5	5.0	○			1.64,1.86(¥)(いちじく)
ひまわりの種子	0.5	20		0.5		
ごまの種子	0.05	10		0.05		
べにばなの種子		10				
綿実		10				
なたね	0.5	10		0.5		
その他のオイルシード		10				
ぎんなん		10				
くり		10				
ペカン		10				
アーモンド	0.2	10		0.2		
くるみ		10				
その他のナッツ類		10				
茶	10	20	○			5.32,5.38(¥)(荒茶)
コーヒー豆		0.05				
カカオ豆		0.05				
ホップ		0.1				
その他のスパイス(種子、根及び根茎を除く。)		20	○			
その他のスパイス	0.1		○	0.1		
その他のハーブ	15	20	○			5.9,10.0(¥)(バジル)
牛の筋肉	0.01	0.2				推:0.001
豚の筋肉	0.01	0.2				(牛の筋肉参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.01	0.2				(牛の筋肉参照)
牛の脂肪	0.01	0.3				推:0.003
豚の脂肪	0.01	0.3				(牛の脂肪参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.01	0.3				(牛の脂肪参照)
牛の肝臓	0.01	1				推:0.008
豚の肝臓	0.01	1				(牛の肝臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.01	1				(牛の肝臓参照)

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
牛の腎臓	0.01	1				推:0.009
豚の腎臓	0.01	1				(牛の腎臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.01	0.9				(牛の腎臓参照)
牛の食用部分	0.01	0.2				(牛の腎臓参照)
豚の食用部分	0.01	0.2				(牛の腎臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.01	0.2				(牛の腎臓参照)
乳	0.01	0.2				推:0.002
鶏の筋肉	0.01	0.5				推:0.001
その他の家きんの筋肉	0.01	0.5				(鶏の筋肉参照)
鶏の脂肪	0.01	2				推:0.001
その他の家きんの脂肪	0.01	2				(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.01	3				推:0.006
その他の家きんの肝臓	0.01	3				(鶏の肝臓参照)
鶏の腎臓	0.01	0.5				(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの腎臓	0.01	0.5				(鶏の肝臓参照)
鶏の食用部分	0.01	0.5				(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの食用部分	0.01	0.5				(鶏の肝臓参照)
鶏の卵	0.01	0.8				推:0.001
その他の家きんの卵	0.01	0.8				(鶏の卵参照)
乾燥させたその他のスパイス(種子に限る。)		0.05		0.05		※3
乾燥させたその他のスパイス(根又は根茎に限る。)		0.1		0.1		※3

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値(暫定基準)については、網をつけて示した。

本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

食品区分を別途新設すること等に伴い、食品区分を削除したものについては、斜線で示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(¥)作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留濃度であることを示している。

基準値案、参考基準値及び残留試験成績はイプロジオンとしての濃度で、基準値現行はイプロジオン及び代謝物Lとしての濃度でそれぞれ示している。

※1国際基準が設定されているが、暴露評価で許容範囲を超えることから基準値を参照しないこととした。

※2種子粉衣された食品については残留の可能性が極めて低いと考えられることから、基準値案を0.01 ppmとした。

※3その他のスパイスに統合した。



イブロジオンの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
大麦	2	0.44	10.6	2.3	8.8	1.9	17.6	3.9	8.8	1.9
その他の穀類	10	3.4	2.0	0.7	1.0	0.3	1.0	0.3	3.0	1.0
大豆	0.1	0.06	3.9	2.3	2.0	1.2	3.1	1.9	4.6	2.8
小豆類	0.2	0.165	0.5	0.4	0.2	0.1	0.2	0.1	0.8	0.6
えんどう	0.1	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.1	0.06	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
らっかせい	0.1	0.025	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他の豆類	0.1	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.08	0.04	3.1	1.5	2.7	1.4	3.4	1.7	2.8	1.4
てんさい	0.7	0.198	22.8	6.4	19.4	5.5	28.8	8.1	23.2	6.6
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の根	0.01	●	0.01	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.5	0.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の葉	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
かぶ類の根	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
かぶ類の葉	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
西洋わさび	0.1	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	3	0.613	53.1	10.9	15.3	3.1	49.8	10.2	64.8	13.2
キャベツ	2	0.815	48.2	19.6	23.2	9.5	38.0	15.5	47.6	19.4
芽キャベツ	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.01	●	0.01	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
きょうな	5	1.81	11.0	4.0	2.0	0.7	7.0	2.5	13.5	4.9
チンゲンサイ	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.01	●	0.01	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のあぶらな科野菜	5	0.91	17.0	3.1	3.0	0.5	4.0	0.7	24.0	4.4
ごぼう	0.3	0.2	1.2	0.8	0.5	0.3	1.2	0.8	1.4	0.9
サルシフィー	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	1	0.11	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
エンダイブ	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
しゅんぎく	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	25	4.84	240.0	46.5	110.0	21.3	285.0	55.2	230.0	44.5
その他のきく科野菜	5	1.03	7.5	1.5	0.5	0.1	3.0	0.6	13.0	2.7
たまねぎ	0.3	0.085	9.4	2.7	6.8	1.9	10.6	3.0	8.3	2.4
ねぎ (リーキを含む。)	4	0.89	37.6	8.4	14.8	3.3	27.2	6.1	42.8	9.5
にら	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	3	1.06	5.1	1.8	2.1	0.7	3.0	1.1	7.5	2.7
わけぎ	3	0.913	0.6	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.6	0.2
その他のゆり科野菜	5	2.35	3.0	1.4	0.5	0.2	1.0	0.5	6.0	2.8
にんじん	1	0.25	18.8	4.7	14.1	3.5	22.5	5.6	18.7	4.7
パースニップ	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	5	1.86	2.0	0.7	0.5	0.2	0.5	0.2	2.5	0.9
その他のせり科野菜	3	1.45	0.6	0.3	0.3	0.1	0.9	0.4	0.9	0.4
トマト	6	1.95	192.6	62.6	114.0	37.1	192.0	62.4	219.6	71.4
ピーマン	15	3.82	72.0	18.3	33.0	8.4	114.0	29.0	73.5	18.7
なす	4	1.31	48.0	15.7	8.4	2.8	40.0	13.1	68.4	22.4
その他のなす科野菜	5	2.3	5.5	2.5	0.5	0.2	6.0	2.8	6.0	2.8
きゅうり (ガーキンを含む。)	4	1.35	82.8	27.9	38.4	13.0	56.8	19.2	102.4	34.6
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	4	1.35	37.2	12.6	14.8	5.0	31.6	10.7	52.0	17.6
しろり	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか (果皮を含む。)	2	0.067	15.2	0.5	11.0	0.4	28.8	1.0	22.6	0.8
メロン類果実 (果皮を含む。)	8	0.014	28.0	0.0	21.6	0.0	35.2	0.1	33.6	0.1
まくわうり (果皮を含む。)	0.01	●	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.2	0.1	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.7	0.3
ほうれんそう	0.01	●	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2
オクラ	2	0.81	2.8	1.1	2.2	0.9	2.8	1.1	3.4	1.4
しょうが	0.1	0.06	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1
未成熟えんどう	20	6.62	32.0	10.6	10.0	3.3	4.0	1.3	48.0	15.9
未成熟いんげん	2	0.2	4.8	0.5	2.2	0.2	0.2	0.0	6.4	0.6
えだまめ	6	1.08	10.2	1.8	6.0	1.1	3.6	0.6	16.2	2.9
その他の野菜	10	3.1	134.0	41.5	63.0	19.5	101.0	31.3	141.0	43.7
日本なし	5	1.2	32.0	7.7	17.0	4.1	45.5	10.9	39.0	9.4
西洋なし	5	1.2	3.0	0.7	1.0	0.2	0.5	0.1	2.5	0.6
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	15	0.303	7.5	0.2	4.5	0.1	28.5	0.6	6.0	0.1

## イブロジオンの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用 いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
もも (果皮及び種子を含む。)	20	0.272	68.0	0.9	74.0	1.0	106.0	1.4	88.0	1.2
ネクタリン	15	4.22	1.5	0.4	1.5	0.4	1.5	0.4	1.5	0.4
あんず (アブリコットを含む。)	15	4.45	3.0	0.9	1.5	0.4	1.5	0.4	6.0	1.8
すもも (プルーンを含む。)	2	0.79	2.2	0.9	1.4	0.6	1.2	0.5	2.2	0.9
うめ	5	1.35	7.0	1.9	1.5	0.4	3.0	0.8	9.0	2.4
おうとう (チェリーを含む。)	20	6.61	8.0	2.6	14.0	4.6	2.0	0.7	6.0	2.0
いちご	10	2.66	54.0	14.4	78.0	20.7	52.0	13.8	59.0	15.7
ラズベリー	30	7.08	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7
ブラックベリー	30	7.08	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7
その他のベリー類果実	5	2.4	0.5	0.2	0.5	0.2	1.0	0.5	0.5	0.2
ぶどう	30	3.23	261.0	28.1	246.0	26.5	606.0	65.2	270.0	29.1
バナナ	9	0.804	118.8	10.6	136.8	12.2	146.7	13.1	170.1	15.2
キウイ (果皮を含む。)	30	0.244	66.0	0.5	42.0	0.3	69.0	0.6	87.0	0.7
マンゴー	5	2.9	1.5	0.9	1.5	0.9	0.5	0.3	1.5	0.9
その他の果実	5	1.78	6.0	2.1	2.0	0.7	4.5	1.6	8.5	3.0
ひまわりの種子	0.5	0.072	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ごまの種子	0.05	0.06	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
なたね	0.5	0.17	3.0	1.0	1.9	0.6	2.7	0.9	2.3	0.8
アーモンド	0.2	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	10	1.77	66.0	11.7	10.0	1.8	37.0	6.5	94.0	16.6
その他のスパイス	0.1	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	15	8.25	13.5	7.4	4.5	2.5	1.5	0.8	21.0	11.6
陸棲哺乳類の肉類	0.01	筋肉 0.001 脂肪 0.003	0.6	0.1	0.4	0.1	0.6	0.1	0.4	0.1
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.01	0.009	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
陸棲哺乳類の乳類	0.01	0.002	2.6	0.5	3.3	0.7	3.6	0.7	2.2	0.4
家きんの肉類	0.01	0.004	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
家きんの卵類	0.01	0.001	0.4	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0	0.4	0.0
計			1897.1	412.6	1203.7	229.2	2246.8	413.6	2203.5	476.8
ADI比 (%)			172.1	37.4	364.8	69.4	192.0	35.4	196.4	42.5

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

●: 種子粉衣された食品については、残留の可能性が極めて低いと考えられることから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。ただし、JMPRの評価書では代謝物Lを測定していないため、大麦、小豆類等、チコリ、未成熟いんげん、ひまわりの種子、なたね、ごまの種子及びその他のスパイスは、ワーストケースである。JMPRの評価書の残留データによるトマトのイブロジオン対イブロジオン+代謝物L比 (1.11) を、レタスはレタスの代謝試験によるイブロジオン対イブロジオン+代謝物L比 (1.009)、いちご、アーモンド及びベリー類はいちごの代謝試験によるイブロジオン対イブロジオン+代謝物L比 (1.064) を乗じた値を用いてEDI試算した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI試算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉及び脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%及び20%として試算した。

## イプロジオンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
大麦	大麦	2	○ 0.44	0.4	0
	麦茶	2	○ 0.44	0.3	0
大豆	大豆	0.1	○ 0.02	0.0	0
小豆類	いんげん	0.2	○ 0.14	0.2	0
らっかせい	らっかせい	0.1	0.025	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.08	○ 0.06	0.6	0
だいこん類 (根)	だいこんの根	0.01	0.01	0.1	0
だいこん類 (葉)	だいこんの葉	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類 (根)	かぶの根	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類 (葉)	かぶの葉	0.01	0.01	0.0	0
はくさい	はくさい	3	○ 1.17	13.6	2
キャベツ	キャベツ	2	2	18.9	2
ケール	ケール	0.01	0.01	0.1	0
こまつな	こまつな	0.01	0.01	0.0	0
きょうな	きょうな	5	5	16.0	2
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.01	0.01	0.1	0
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	5	5	39.3	4
	菜花	5	5	11.2	1
ごぼう	ごぼう	0.3	0.5	2.2	0
しゅんぎく	しゅんぎく	0.01	0.01	0.0	0
レタス	レタス類	25	○ 22.2	125.9	10
たまねぎ	たまねぎ	0.3	○ 0.17	1.3	0
ねぎ	ねぎ	4	○ 1.76	6.0	1
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	3	3	5.5	1
わけぎ	わけぎ	3	3	5.9	1
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	5	5	8.8	1
	らっきょう	5	5	6.4	1
にんじん	にんじん	1	1	4.5	1
	にんじんジュース	1	○ 0.25	1.7	0
パセリ	パセリ (生)	0.01	0.01	0.0	0
	パセリ (乾燥)	0.01	0.01	0.0	0
セロリ	セロリ	0.01	0.01	0.1	0
みつば	みつば	5	5	2.9	0
その他のせり科野菜	せり	3	5	8.2	1
トマト	トマト	6	○ 2.8	27.5	3
ピーマン	ピーマン	15	○ 6.76	16.3	2
なす	なす	4	○ 2.83	17.0	2
その他のなす科野菜	とうがらし (生)	5	5	8.1	1
	ししとう	5	5	6.1	1
きゅうり	きゅうり	4	4	24.2	3
かぼちゃ	かぼちゃ	4	4	38.2	4
	ズッキーニ	4	4	28.9	3
しろり	しろり	0.01	0.01	0.1	0
すいか (果皮を含む。)	すいか	2	0.3	10.2	1
メロン類果実 (果皮を含む。)	メロン	8	○ 0.025	0.4	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.2	0.3	5.1	1
	にがうり	0.2	0.3	2.6	0
ほうれんそう	ほうれんそう	0.01	0.01	0.0	0
オクラ	オクラ	2	3	4.3	0
しょうが	しょうが	0.1	○ 0.06	0.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	20	20	26.6	3
	未成熟えんどう (豆)	20	20	23.2	3

## イプロジオンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	○ 1.4	1.9	0
えだまめ	えだまめ	6	○ 2.69	6.1	1
その他の野菜	ずいき	10	10	101.3	10
	もやし	10	10	22.4	2
	れんこん	10	10	60.6	7
	そら豆（生）	10	10	29.4	3
日本なし	日本なし	5	5	72.5	8
西洋なし	西洋なし	5	5	70.1	8
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	15	2	14.3	2
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	20	○ 0.37	4.7	1
すもも	プルーン	2	2	11.7	1
うめ	うめ	5	5	6.8	1
おうとう	おうとう	20	○ 8.33	20.8	2
いちご	いちご	10	○ 9.68	32.5	4
ぶどう	ぶどう	30	○ 13.9	182.1	20
バナナ	バナナ	9	3	33.4	4
キウイー（果皮を含む。）	キウイー	30	○ 0.77	4.7	1
マンゴー	マンゴー	5	10	134.9	10
その他の果実	いちじく	5	5	38.3	4
ごまの種子	ごまの種子	0.05	○ 0.06	0.0	0
アーモンド	アーモンド	0.2	○ 0.19	0.1	0
茶	緑茶類	10	5	2.8	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における暴露評価対象物質の最高残留濃度（HR）又は作物残留試験における暴露評価対象物質の中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。ただし、JMPRの評価書では代謝物Lを測定していないため、大麦、小豆類等、未成熟いんげん及びごまの種子は、ワーストケースであるJMPRの評価書の残留データによるトマトのイプロジオン対イプロジオン+代謝物L比（1.11）を、レタスはレタスの代謝試験によるイプロジオン対イプロジオン+代謝物L比（1.009）、いちご、アーモンド及びベリー類はいちごの代謝試験によるイプロジオン対イプロジオン+代謝物L比（1.064）を乗じた値を用いてESTI試算をした。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いて試算をした。

種子粉衣された食品については、残留の可能性が極めて低いと考えられることから、暴露評価を行うにあたり0.01 ppmの数値を用いた。

(参考)

これまでの経緯

平成17年11月29日	残留農薬基準告示
平成25年3月12日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和2年8月4日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：非結球レタス）
令和3年2月9日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年11月2日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和4年8月29日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和4年12月16日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

○ 穂山 浩	学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授
石井 里枝	埼玉県衛生研究所化学検査室長
井之上 浩一	学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授
大山 和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
折戸 謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授
加藤 くみ子	学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授
魏 民	公立大学法人大阪大阪公立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学准教授
佐藤 洋	国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授
佐野 元彦	国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵 雅之	学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科 生物有機化学研究室教授
瀧本 秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
中島 美紀	国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所 薬物代謝安全性学研究室教授
永山 敏廣	学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部主任研究官
野田 隆志	一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問
二村 睦子	日本生活協同組合連合会常務理事

答申（案）

イプロジオン

食品名	残留基準値 ppm
大麦	2
その他の穀類 <sup>注1)</sup>	10
大豆	0.1
小豆類 <sup>注2)</sup>	0.2
えんどう	0.1
そら豆	0.1
らっかせい	0.1
その他の豆類 <sup>注3)</sup>	0.1
ばれいしょ	0.08
てんさい	0.7
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.01
かぶ類の根	0.01
かぶ類の葉	0.01
西洋わさび	0.1
クレソン	0.01
はくさい	3
キャベツ	2
芽キャベツ	0.01
ケール	0.01
こまつな	0.01
きょうな	5
チンゲンサイ	0.01
カリフラワー	0.01
ブロッコリー	0.01
その他のあぶらな科野菜 <sup>注4)</sup>	5
ごぼう	0.3
サルシフィー	0.01
アーティチョーク	0.01
チコリ	1
エンダイブ	0.01
しゅんぎく	0.01
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	25
その他のきく科野菜 <sup>注5)</sup>	5
たまねぎ	0.3
ねぎ（リーキを含む。）	4
にら	0.01

食品名	残留基準値
	ppm
アスパラガス	3
わけぎ	3
その他のゆり科野菜 <sup>注6)</sup>	5
にんじん	1
パースニップ	0.01
パセリ	0.01
セロリ	0.01
みつば	5
その他のせり科野菜 <sup>注7)</sup>	3
トマト	6
ピーマン	15
なす	4
その他のなす科野菜 <sup>注8)</sup>	5
きゅうり (ガーキンを含む。)	4
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	4
しろうり	0.01
すいか (果皮を含む。)	2
メロン類果実 (果皮を含む。)	8
まくわうり (果皮を含む。)	0.01
その他のうり科野菜 <sup>注9)</sup>	0.2
ほうれんそう	0.01
オクラ	2
しょうが	0.1
未成熟えんどう	20
未成熟いんげん	2
えだまめ	6
その他の野菜 <sup>注10)</sup>	10
日本なし	5
西洋なし	5
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	15
もも (果皮及び種子を含む。)	20
ネクタリン	15
あんず (アプリコットを含む。)	15
すもも (プルーンを含む。)	2
うめ	5
おうとう (チェリーを含む。)	20
いちご	10
ラズベリー	30
ブラックベリー	30
その他のベリー類果実 <sup>注11)</sup>	5
ぶどう	30

食品名	残留基準値 ppm
バナナ	9
キウイ（果皮を含む。）	30
マンゴー	5
その他の果実 <sup>注12)</sup>	5
ひまわりの種子	0.5
ごまの種子	0.05
なたね	0.5
アーモンド	0.2
茶	10
その他のスパイス <sup>注13)</sup>	0.1
その他のハーブ <sup>注14)</sup>	15
牛の筋肉	0.01
豚の筋肉	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物 <sup>注15)</sup> の筋肉	0.01
牛の脂肪	0.01
豚の脂肪	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.01
牛の肝臓	0.01
豚の肝臓	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.01
牛の腎臓	0.01
豚の腎臓	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.01
牛の食用部分 <sup>注16)</sup>	0.01
豚の食用部分	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.01
乳	0.01
鶏の筋肉	0.01
その他の家きん <sup>注17)</sup> の筋肉	0.01
鶏の脂肪	0.01
その他の家きんの脂肪	0.01
鶏の肝臓	0.01
その他の家きんの肝臓	0.01
鶏の腎臓	0.01
その他の家きんの腎臓	0.01
鶏の食用部分	0.01
その他の家きんの食用部分	0.01
鶏の卵	0.01
その他の家きんの卵	0.01



- 注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。
- 注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。
- 注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。
- 注4) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
- 注5) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）及びハーブ以外のものをいう。
- 注6) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
- 注7) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- 注8) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
- 注9) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
- 注10) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- 注11) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。
- 注12) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
- 注13) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
- 注14) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。
- 注15) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。
- 注16) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。
- 注17) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。